

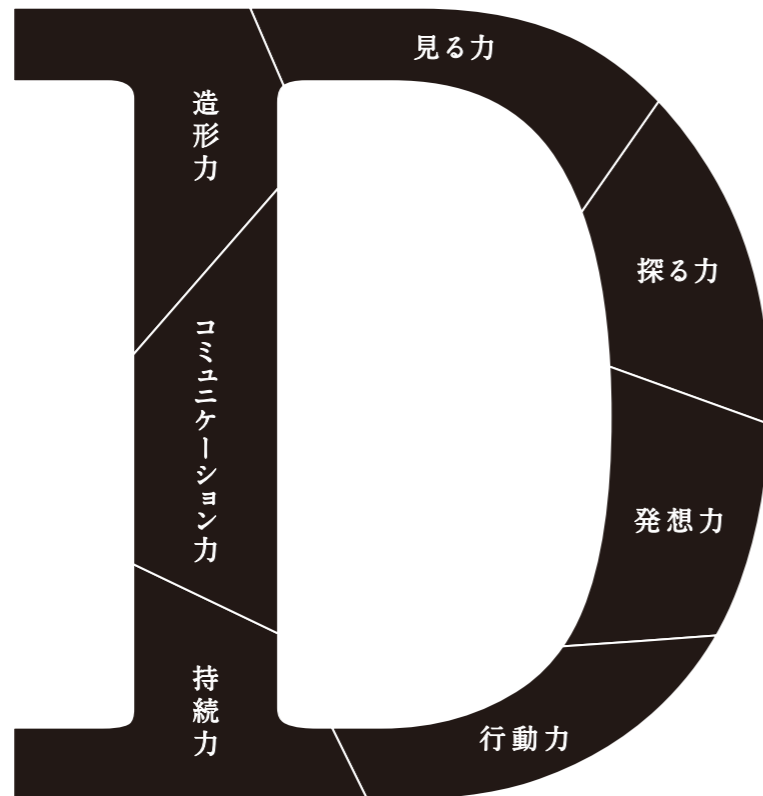
デザインを学ぶ

公立の大学

長岡造形大学

デザインの潜在力。

デザインには潜在的な力があります。
デザインプロセスを実践的に学んでいくと、
様々な力が引き出されます。



「デザインを専門とするNID」で、
総合的にデザインを学び、
人や社会をしあわせにする
創造力(新たな価値を生み出す力)を身につけます。

デザインを学び、思考する。
未来を拓く力となる。

「デザイン」という言葉から、何を連想するだろうか。

きれいなもの、特別なもの、高価なもの…。

見た目を美しくしたり、付加価値を高めたり、

独創性を加えることがデザインと考えるかもしれない。

しかし、NIDが目指すデザインはこうした枠に収まるものではない。

デザインには問題を見つけ、解決し、新しい価値を生み出す力がある。

学生は4年間を通じ、実践的にデザインを学ぶ中で、

知らず知らずのうちに多くの力を養う。

社会に出た後に求められるであろう、

人間力をトータルで身につけることができる。

「デザイン思考」を知っているだろうか。

人間を中心に置いて発想し、

イノベーションを起こし、

社会に新たな価値を提供するための手法。

今、人々はデザインの潜在力に気づき、

地域や企業…職種や分野を問わず、

あらゆるところでこの思考を必要としはじめている。



越後みしま竹あかり街道

旧三島町本町通り約800mの旧街道、および沿道に立地する2つのお寺、1つの神社の境内を主要な展示場所として実施した「越後みしま竹あかり街道」に参加しています。全体の企画から竹灯ろうのデザイン、制作、設営、当日の運営、撤去までを一貫して学生が体験することを目的としています。



Message of Peace (メッセージオブピース)

2015年、姉妹都市であるハワイ・ホノルル市と長岡市は「長岡ホノルル平和交流記念事業」を行いました。この取り組みをきっかけに、平和へのメッセージを発信しようと、長岡の子どもたちが「絵」と「体」で長岡花火を表現しました。学生は絵の制作、撮影、当日の運営に協力しています。



長岡籐家具研究会

長岡市で籐家具を製造するYMK長岡とNIDが中心となり、長岡籐家具研究会を発足させました。歴史ある籐家具の魅力と、素材としての籐の面白さを学生たちと共有しながら、その可能性を模索しています。

地域の課題を知り、共に考え、解決へ
デザインの実践を通し、幾重にも成長する

学生は様々なプロジェクトに参加し、地域や人々と繋がりながらデザインを実践していきます。現場では、思いどおりにいかないこともあります。しかし、失敗することや、地域の人から良くも悪くも評価されるという経験は得難い学びです。困難を乗り越え、「デザインで社会を良くすることができる」と実感できた時、一回り成長した自分と出会えます。



ヤングアート長岡

地域文化の向上と長岡市中心市街地の活性化を目的として、大手通商店街などを舞台に長岡悠久ライオンズクラブや商店街の協力を得て、学生が立体、絵画、写真、グラフィック、映像などの作品の発表を行いました。



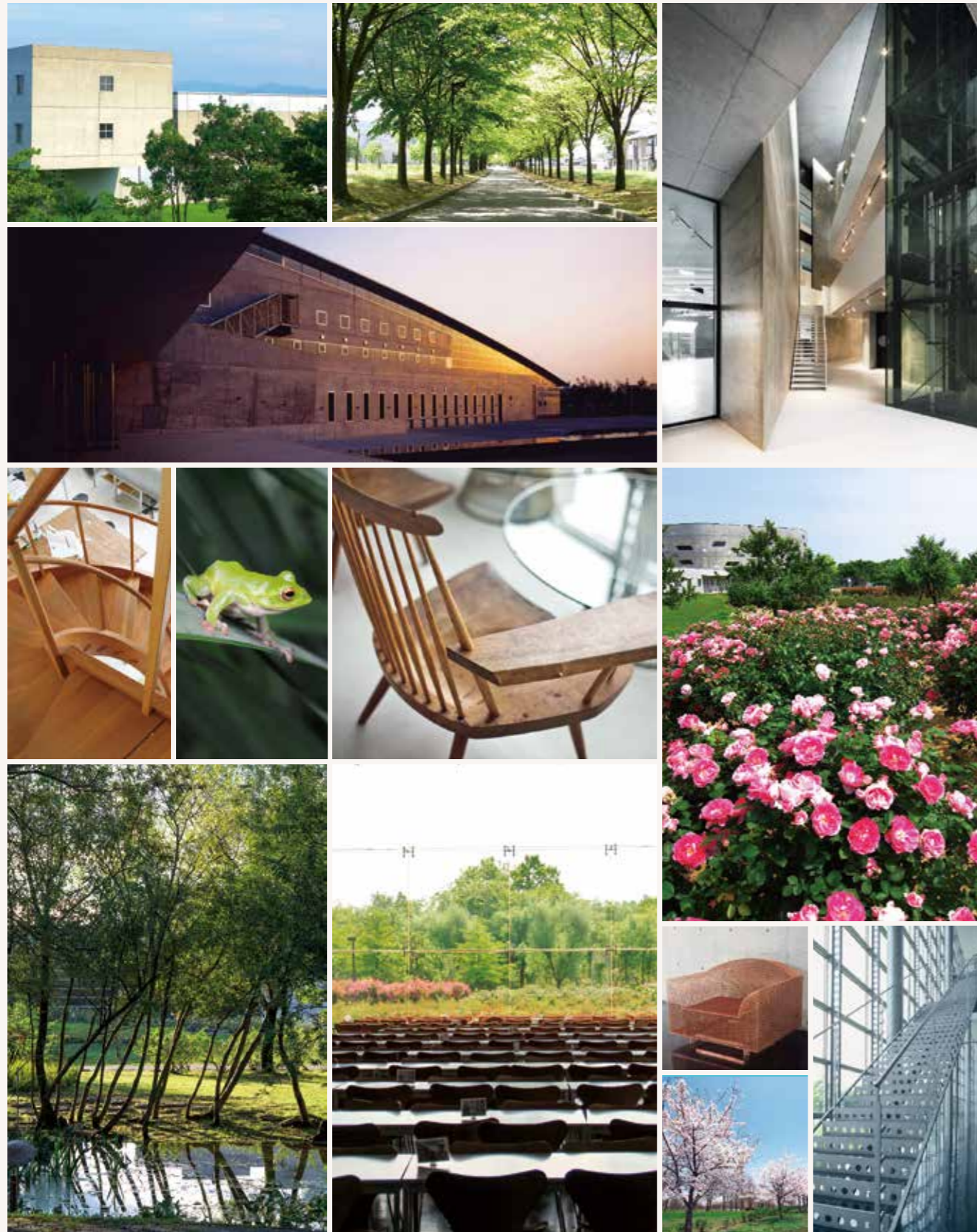
むムm (新潟県村上市観光ガイドブック制作)

「むらかみのごくごくふつうのくらしをならべてみました」をコンセプトに、村上市観光協会とNIDが村上広域観光ブランディング・デザイン研究会を立ち上げ、その活動の一環として販売を目的とした観光ガイドブックを制作しました。販売が前提の仕事というプレッシャー、現地での様々な年齢層の人々との取材でのやりとり、通常の授業や卒業研究を行いながら、綿密さを求められたデザインワーク、印刷会社や観光協会とのコミュニケーションなど、学生を刺激し、より良いものを生み出すための苦しみと喜びを経験することができました。

見るもの触れるもの
すべてがデザインの教材

キャンパスに一步足を踏み入れた瞬間からデザインの世界が広がります。

まるごとデザインの教材として考えられたキャンパスは、学生たちの創作意欲を常に刺激します。



学科を超えて全員が造形の基礎を修得
デザインを横断的に学び、幅広く理解する

基礎造形実習

基礎造形実習は、全学生の1年次の必修授業です。デッサンや色彩、立体構成、写真などの実習を通して、造形の基礎となる「観る」「描く」「創る」力を養います。

授業は毎日行われ、課題のスタートには「創る」前に、目的・発想法・用具や材料の扱い方などのレクチャーを受け、それらを理解しながら制作を行います。基礎造形力だけでなく、持続力なども身につきます。

また、全学科の教員から学んだり、他学科の学生とグループをつくるなど、学科を超えたコミュニケーションにより、デザインに対する視野や興味の幅が広がります。

主な
実習内容

描写（静物・色彩・人体等）
色彩構成・平面構成
図面基礎・写真
レイアウト・立体構成
塑像・モデリング
レタリング



色彩構成

基礎造形実習は、デッサンや色彩構成など、デザインの基礎を身につける授業です。1週間に1課題のペースで行います。毎週課題に対する丁寧な事前説明と講評があります。私は高校までにデッサンを本格的に学んだことがありませんでしたが、この授業のおかげで幅広い分野の基礎が身につきました。この授業は全学科共通で同じアトリエで行うため、他の学生の制作過程を見たり、他学科の人と交流するなど、一人で課題をこなすだけでは学べないことができるところも良かったです。

永田 紗和子 Sawako Nagata

視覚デザイン学科2年
出身学校：秋田高等学校（秋田県）



卒業生は、様々なフィールドで活躍しています

お店ではオリジナルデザイン
の衣類や雑貨を扱っています。私の主な業務はギフトの注文受付です。お客様からのご依頼でイラストを描いたり、Tシャツや手ぬぐいなど、お店の商品デザインをさせていただくこともあります。

大学の図書館はデザインや服飾についての書籍が充実していて、課題の参考になることはもちろん、落ち着ける好きな空間でした。

また、1年次に学んだ色彩の課題が今でも心に残っています。衣類や雑貨を購入するとき、色の印象によって購入意欲が左右されることも多いと思います。色の相性や配分に気をつけつつ、デザインを考えています。



02 大方 美穂 Miho Okata

勤務先：合同会社 アレコレ (hickory03travelers)
卒業学科名等：プロダクトデザイン学科 2011年卒業



オリジナルデザインTシャツ



上：店舗での接客、販売業務
下：新潟市美術館ミュージアムショップ「ルルル」商品手ぬぐい

日本語版制作会社（映像翻訳会社）で洋画や海外ドラマ、ドキュメンタリー番組の字幕制作を行っています。主にディスカバリーチャンネルのドキュメンタリー番組、ワーナー・ブラザースやNetflixの海外ドラマ作品等を担当し、制作現場の進行指揮を執る仕事をしています。NIDは小規模な大学特有のアウトホームさと自由度があります。教員とも距離が近く、学生同士も仲良くなりやすい環境が整っているため、萎縮することなくのびのびと好きなことを追求することができました。デザインを学んで異業種に就くと「NID卒業」という肩書は異彩を放つこともあります。現在の業界に「異分子」として飛び込んだことで、人とは違うモノの見方ができていると思います。



エンジンECU / ABILCORE
自動車等のエンジン制御ECU
(エレクトリック・コントロール・ユニット)
2015グッドデザイン賞受賞
2016iF賞受賞

メーター、ナビ、ETC等の車載機器製品やECU、インバータ等のエンジンコンパネトメント製品、事業部ブランドデザイン、施設サイン計画等のデザインに携わってきました。NIDでは1、2年次に学んだプロダクトやグラフィックの基礎、写真、映像、Webなど様々な分野を学んだことが役立っています。専門はプロダクトですが、メーターやナビなどインタフェース系の業務に関してはグラフィックや映像の知識も必要で、専門以外のことも幅広く学ぶ機会があったのは非常に良かったです。



03 元家 護 Mamoru Motoya

勤務先：ACクリエイト株式会社
卒業学科名等：視覚デザイン学科 2001年卒業



01 岡本 陽 Akira Okamoto

勤務先：株式会社 デンソー
卒業学科名等：プロダクトデザイン学科 2007年卒業

※卒業学科名等は現在の学科に相当する名称で記載しています。

南米パラグアイ、イグアス市における観光開発をしています。「プロジェクトエコリズム」とテーマをあげ、現在、環境保全をしながら、それを観光資源として、最終的にイグアス市全体のプロジェクトにすることを目指しています。NIDでは建築に限らず、多くの分野でも使える知識や技術を養えました。また、自然に囲まれ、デザインされた校舎の中はデザインを学ぶには素晴らしい環境です。

観光開発と設計は一見関係ないように思えますが、開発のための設計はもちろん、宣伝のためのグラフィック関係のデザインもやっています。在学中に学んだことは、「デザイン」を通じて繋がっており、多くの分野において役に立つと思います。



04 入澤 佑哉 Yuya Irisawa

勤務先：Fundación Ito
卒業学科名等：建築・環境デザイン学科
2015年卒業



施工中のキッチンと食事スペース



デンマークの観光客に牧場について説明

不動産業（有効活用・売買・賃貸管理）をしている他、自社で古民家の再生、カフェ＆貸教室『PIJS+アンカー』の運営に携わっています。NIDでは文化財を専門に学び、全国各地の街並みの調査を行いました。様々な人と出会い、卒業・修了研究の場所であった群馬県桐生市を好きになり、そこで学んだことを実践し、暮らすことも叶い嬉しく思います。先生や先輩・後輩にも恵まれ、楽しい研究室でした。街並みの訪問や調査の発表では、コミュニケーションの重要性やプレゼンテーション用の資料を制作するためのソフトの使い方を幅広く学ぶことができました。



05 小林 裕香 Hiroka Kobayashi

勤務先：株式会社 アンカー
卒業学科名等：大学院造形研究科 修士課程
2011年修了



東京消防庁練馬消防署庁舎（24）新築工事
SRC造 平成27年2月竣工
（撮影日 上：平成27年2月 下：平成26年6月）

工事現場全体の施工管理（安全・品質・工程・コスト・環境）を行っています。入社してからはマンションや消防署新築工事に携わっており、現在は東京スカイツリーの近くにおいて、マンション新築工事（RC造7階）の施工管理を行っています。

NIDでは、課題に失敗しても、周りに支えられながら何度も挑戦し課題の完成を目指し、取り組み姿勢や追求心を身につけられました。現在でも、そのことが糧になっています。また、私が施工管理を職業にした理由は、デザインや設計以外にも建設現場や建物見学、模型づくりなど、ものづくりの楽しさを在学中に触れることができたことにあります。修士課程在学中は学部卒業後の受験資格を活かし、二級建築士と宅地建物取引主任者の資格を取得しました。



06 村山 貴広 Takahiro Murayama

勤務先：株式会社 加賀田組 東京支店
卒業学科名等：大学院造形研究科 修士課程
2013年修了



左：2016年新年原稿
右：2015年夏発行 手仕事ルポ



普段の業務では日々起こるニュースに付ける地図やグラフを作成しています。現在同時進行で日本の素敵な手仕事を紹介するイラストレポを作成中です。描き手が取材に行き、イラストと記事を描き上げます。分かりやすくニュースを伝えるということとは、在学中に学んだ映像やマンガなどに共通していると思います。全く違うものづくりをしているように思っても、必ず生かせるポイントがあると思います。NIDの建物にとって魅力的でした。あの存在感はなかなかの非日常感っぷりを演出していると思います。冬は寒さが増している気がしますが（笑）、あの非日常の中で過ごした日常は大切な思い出です。



07 坂井 雅恵 Masae Sakai

勤務先：一般社団法人 共同通信社
卒業学科名等：視覚デザイン学科 2012年卒業

※卒業学科名等は現在の学科に相当する名称で記載しています。



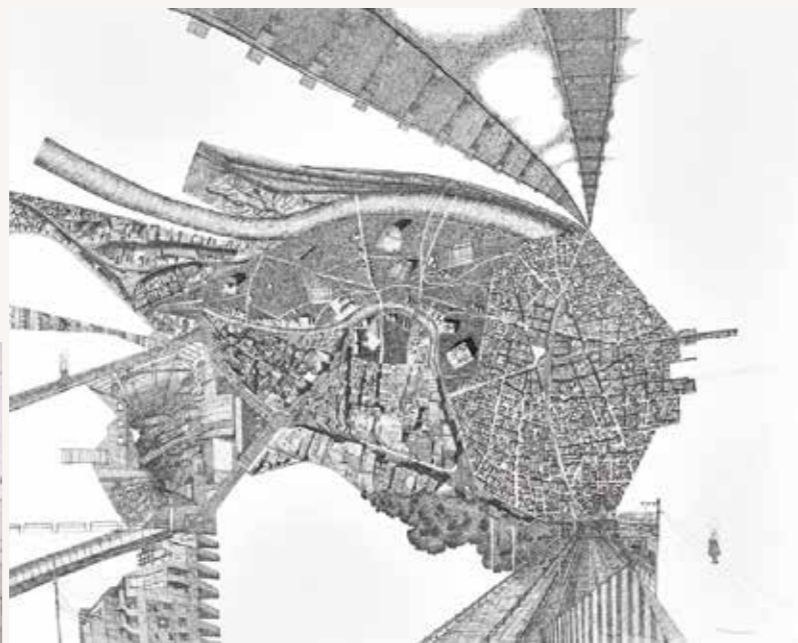
社内営業コンテスト日本一表彰式

27歳の時にスカウトによりソニー生命保険の営業職員であるライフプランナーになりました。現在は、東京中央ライフプランナーセンター第1支社で営業所長をしています。NIDだからこそ「人のやらないことをやる」というアイデアを考える習慣が培われたと感じます。自作のパンフレットを作ったり、自由に柔軟な発想で、マーケティングもたくさん試みて、営業所チームの実績を上げました。先日の社内営業コンテストでは、すべてのカテゴリで第1位となり、日本一となりました。これも、NIDで学んだ自由な発想力の賜物です。私は金融という異業種の道へ進みましたが、違う道でもいくらでも自分の可能性を伸ばすことができます。と思っています。



10 加部藤 大 Hisashi Kabeto

勤務先：ソニー生命保険 株式会社
卒業学科名等：プロダクトデザイン学科 2011年卒業



左：個展風景 右：「太陽、月、世界のつくりかた」シェル美術賞2015 出展作品

卒業後、LAAStudio を設立しました。活動を始めてすぐにニューヨークで展示を行い、国内外問わず作品を発表しています。NIDでは様々な専門分野を学び、建築以外の知識も得られました。その利点を活用して他学科の友人とコンビを組んで国際コンテストにも挑みました。結果はダメでしたが、最高に良い経験をしました。学生時代は、とにかく学内に留まらず他大学の建築学科の課題の手伝いに行ったり、外に出て興味あるところに行つて色々と学びました。学外での経験も自分を成長させてくれました。



11 姉崎 卓弥 Takuya Anezaki (作家名：姉咲たくみ)

所属：LAAStudio
卒業学科名等：大学院造形研究科 修士課程 2013年修了

※卒業学科名等は現在の学科に相当する名称で記載しています。



左：「阿部サダヲさん」舞台誌で撮影
右：「押井守監督」実写版パトレイバーの宣伝用素材



人物の撮影を中心に、雑誌、広告、CD・DVDジャケット、Web、パンフレット、カレンダーなどの撮影をしています。NIDは入学時の分野が広く設けられているので、本当に自分がやりたいことや向いていることなどを見つけられる場所だと思います。自身、入学当時は映像の勉強がしたかったので、途中で写真に変えました。学生時代は正直、遊んでばかりでしたが、最終的には今の仕事を続けていける入口になりました。現在は独立して撮影を行っています。



08 田村 与 Hitoshi Tamura

職 種：フォトグラファー
卒業学科名等：視覚デザイン学科
2008年卒業

常勤講師として美術と工業の授業を担当しています。工業の授業では陶芸や写真について指導しています。またクラス担任を持つっており、クラス運営や進路指導などを行っています。NIDでは1年次の基礎造形実習で、造形に関わる基礎を学べたことが良かったです。基礎造形実習に限らず、コンピュータを利用した授業ではフォトショップやイラストレーターなどのソフトについても幅広く学べました。現在の仕事では、NIDで学んだことを生かし、高校の授業の題材に幅広い分野から取り入れてみたり、卒業制作をする際に学んだ作品コンセプトの考え方や大切さを授業や部活で指導してみたり、またNIDでは色々と新しいことに挑戦できる機会が多く、今でも様々なことに興味を持って挑戦できる力がついたと感じています。



09 小杉 美紀子 Mikiko Kosugi

勤務先：学校法人 羽黒学園 羽黒高等学校
卒業学科名等：美術・工芸学科 2013年卒業





ウルティメイトペンダント

ヤスリ作業、ロー付け、磨き、石留め、刻印打ち、チェーン組み立て、などジュエリー制作を一貫して行っています。

NIDは様々な設備が整っています。美術・工芸学科ではコラボレーション作品がありますが、整った設備と、指導してくれる優秀な教員がいるから行える課題だと思います。なんでも作れるし、作らせてくれる。こんな環境はなかなか無いと思います。

また、モノを作るといふことの基礎を学びました。「この構造だと耐久力が無くて壊れてしまうけど、ここを繋げれば大丈夫」とか、「この作業手順でやればキレイに仕上げられる」とか、基礎が分かっていると、そういったことを頭の中で考えられる。それができれば作業のスピードも質も上がるので、様々な分野を授業で体験できて知識をつけられたことはとても役に立っています。

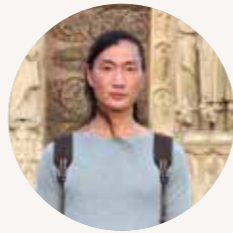


14 大関 智也 Tomoya Oseki

勤務先：株式会社 J-one
卒業学科名等：美術・工芸学科 2012年卒業



左：天然スレート葺施工写真
右：重要文化財 旧岩崎家住宅洋館（東京都台東区）



12 金澤 翔太 Shota Kanazawa

勤務先：有限会社 熊谷産業
卒業学科名等：大学院造形研究科
修士課程 2012年修了

茅葺屋根や天然スレート葺屋根工事をしています。重要文化財や史跡などの工事に携わりました。

NIDはキャンパスが非常に印象的で、特にカツラ並木がとても好きでした。秋になると葉っぱも地面も黄色く染まり、微かに甘いにおいがかぎながら校舎に向かって通学しました。作品制作していくなかでは、自分が触れたモノから道具や素材を扱う心構えを、技術と建物を残し伝えていくということに対して考える姿勢を持つことができたように思います。



左：株式会社エフテック／ブランディング
右：株式会社太陽と大地／謙太郎米パッケージ



企業理念の構築からお手伝いさせていただき、それをベースにコーポレートアイデンティティをデザインし、Web、その他ツールへ展開させています。お客様らしいブランドを確立し、価値を見出すことが私の仕事です。

在学時は、とにかく色々な作品を見ました。図書館で作品集を読み漁ったり、都内の展示に足を運んだり。そうすることで、自ずとデザインの知識が身につくのでアイデアの幅も広がります。NIDは先生との距離が近いです。研究室を仕事場にされている先生も多く、実際の仕事の過程をリアルタイムに見ることができました。現場の空気を感じられる刺激に溢れた空間なので、積極的に研究室を訪ねることをオススメします。



15 高橋 洋貴 Hiroki Takahashi

勤務先：株式会社 セルディビジョン
卒業学科名等：視覚デザイン学科 2010年卒業



13 風間 由貴子 Yukiko Kazama

勤務先：株式会社 アンドクリエイト
卒業学科名等：建築・環境デザイン学科
2012年卒業

本社に隣接する店舗の運営・管理を担当しています。商品の仕入から接客販売など業務全般を行います。店内のレイアウトやディスプレイなど日々チェックしながらその時々のお客様のニーズに合わせて店舗づくりをしています。また、本社ショールームと店舗をつなぐ役割も担っているため、告知や案内をすることもあります。NIDでは地域での課題に取り組むところや学科全体で取り組む課題は、他分野の人たちの考え方や技術を知る良いきっかけになりましたし、その地域にいなければ考えないであろう問題に取り組めたことはすごく貴重な体験だったと思います。

店内をつくるうえで、コンセプトやテーマを決めて最終的にそれに基づいてディスプレイしていくので、大学時代の課題で多く学んできた分、抵抗なく自然と取り組んでいます。

※卒業学科名等は現在の学科に相当する名称で記載しています。

私が所属する factory zoomer(辻和美 ガラス工房)では、春にオープンした factory zoomer/galleryにて展示、販売する作品を作っています。その中で私はガラスの研磨を担当して作品の最後の仕上げに携わっています。

NIDでは最初の1年間は、全学科の学生と一緒に基礎造形実習を通して、デザインの基礎を学びながらも、別の学科の同期と交流を持るところが良かったです。2年目では、分野ごとに分かれて一通り自分の各学科のコースを受講することでこの先自分に何が適しているか、学んでいきたいかをじっくり考えることができました。また、いろいろな外部の講師の方々との出会いもありました。その中で講師として来てくださった辻和美さんの工房で、現在私は働いています。在学中に学んだカット技法の基礎知識や機材の使い方が今の仕事に大変役立っています。



16 島元 かおり Kaori Shimamoto

勤務先：株式会社 factory zoomer
卒業学科名等：美術・工芸学科 2014年卒業



タブレットから簡単操作できるビデオスイッチャーのアプリデザイン

スポーツの活動記録を自分視点の動画にオーバーレイできるスポーツアクションカメラの製品デザインとアプリデザイン



IOTベンチャー企業に所属しています。アプリで操作できる映像機器や、加重センサー付スノーボード用品専用のカメラの開発をしています。デザインから機構設計、パッケージデザインや量産立ち上げなど、商品の企画からお客様の手に届くまでのほとんどを担当させてもらっています。

NIDでは課題で行き詰まった時、いつでも先生に相談できる風土が良かったと思います。私も足しげく通いました。NIDで学んだ「まず作ってみる」精神は仕事で役立っていると思います。きれいな絵を描いても、実際に手で触れてみないとわからない問題がたくさんありますし、他部門とコミュニケーションする上でもスムーズです。学生時代も工房をフル活用して、まず作って問題を発見したり、先生や仲間と相談したりしていました。

18 稲田 祐介 Yusuke Inada

勤務先：株式会社 Cerevo
卒業学科名等：大学院造形研究科 修士課程 2009年修了



リマーカブル・ディレクター・オブ・ザ・イヤー2015 ファイナリスト受賞作「オザキのしっぽ」

CMプランナーとして、広告会社の方々と一緒にCMのアイデアを考えています。僕らプロダクション(映像制作会社)はアイデアを考えることの他に、CM制作も手がけており、CMプランナーは最終的にCMディレクター(CM監督)になることが多いです。

NIDでは意欲があれば何をやるでもいいという自由なところが良かったです(悪いことはダメですよ)。そんな意欲的な学生をサポートしてくれる教員や、充実した機材や設備等、贅沢過ぎるほど恵まれた環境がNIDの強みだと思います。

学生時代にクラブで知り合ったラッパーやダンサーのライブ映像やミュージックビデオを作らせてもらっていたのですが、毎月大量の映像を作る中で、色々と映像の実験をすることができました。その経験は、現在の仕事においても自分だけの武器になっているような気がします。さらに、そのような外の経験を学校に持ち帰り、違う考え方の同級生らと共有することでお互い高め合えたことも、今の自分を作ってくれた大事な経験のひとつと考えています。

17 中嶋 駿介 Shunsuke Nakajima

勤務先：株式会社 博報堂プロダクツ
卒業学科名等：プロダクトデザイン学科 2010年卒業



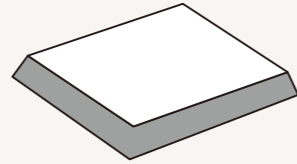
※卒業学科名等は現在の学科に相当する名称で記載しています。

4年間の流れ

NIDのカリキュラムは「城郭型」です。各自の専攻分野に特化したタワー型のカリキュラムが一般的ですが、NIDでは最初に造形の基礎となる土台をつくり、その中心に自らの専攻分野である「天守閣」、さらに周囲に専門分野の「やぐら」を築いていきます。刻々と変化を続ける社会で求められるのは、専門にとらわれず、柔軟に発想しながら目の前の課題を解決する力。デザインを横断的に学びながら、たくましく成長していきます。

1
年次

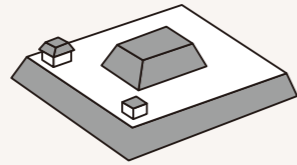
基礎造形力を養う。
学びのプランを
明確にする。



全学生必修の「基礎造形実習」で、造形に必要な「観る」「描く」「創る」力を養います。全学科必修のコンピュータ基礎演習によりデザインに必要な基本ソフトを修得し、作品の編集・発表、情報の整理を行います。また、過去の自分を振り返るとともに、なりたい自分を明確にする「未来履歴書」(基礎ゼミ)を作成し、学びの目標やプランを設定します。

2
年次

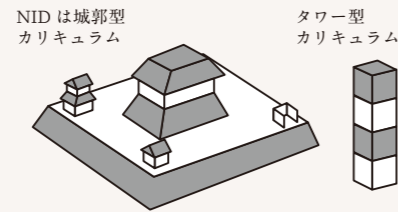
専攻分野を学びながら
興味ある分野も学ぶ。



2年次から専攻分野の学びが始まりますが、1年次に引き続き他分野も学べます。たとえば視覚デザイン学科の学生が建築に興味を持った場合、建築・環境デザイン学科の概論などを受講することが可能です。また、学部共通の授業により造形の素養を育みます。

3
年次

専門知識や技術を
高めつつ
キャリアプランを
明確にする。



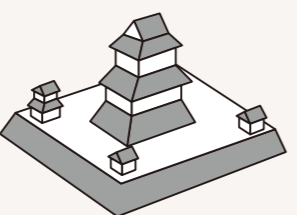
NIDは城郭型
カリキュラム

タワー型
カリキュラム

3年次は各学科でコースに分かれ、専門分野の知識や技術をさらに磨きます。一方、地域や企業とつながりながら実践的に学ぶ「地域協創演習」やインターンシップなど現場を経験することで、卒業後の進路や働き方を明確にします。

4
年次

専門知識や技術を
さらに磨き
集大成(卒業研究)に
取り組む。



基礎造形力という土台の上に建つ、天守閣(専攻分野)とやぐら(専門分野)、自らの専攻分野(天守閣)から見渡すことにより新たな提案や発想につなげ、4年次はこの成果の集大成として、卒業研究に取り組みます。

就職 70

大学院 68

Architecture and
Environmental Design

建築・環境デザイン学科

50
ページ

〔対象となる主な分野〕
建築デザイン
都市計画・まちづくり
インテリアデザイン
ディスプレイデザイン
ランドスケープデザイン
文化財建造物保存

Art and Craft

美術・工芸学科

40
ページ

〔対象となる主な分野〕
絵画
銅版画・シルクスクリーン
彫刻
彫金
銀金
鍍金
ガラス

Visual Communication
Design

視覚デザイン学科

30
ページ

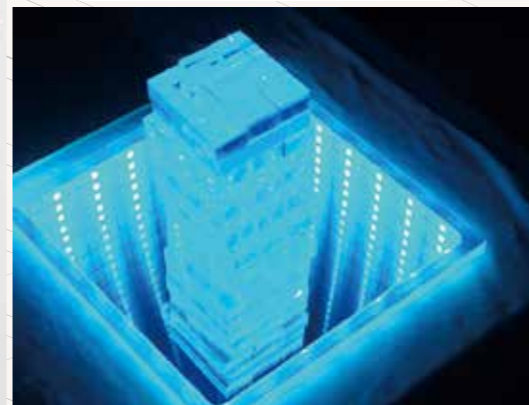
〔対象となる主な分野〕
写真・映像
Web・アプリ
エディトリアル・DTP
イラストレーション
広告・ブランディング
インフォメーションデザイン

Product Design

プロダクトデザイン学科

20
ページ

〔対象となる主な分野〕
家電・情報機器
自動車
家具
日用品
テキスタイル
ファッション



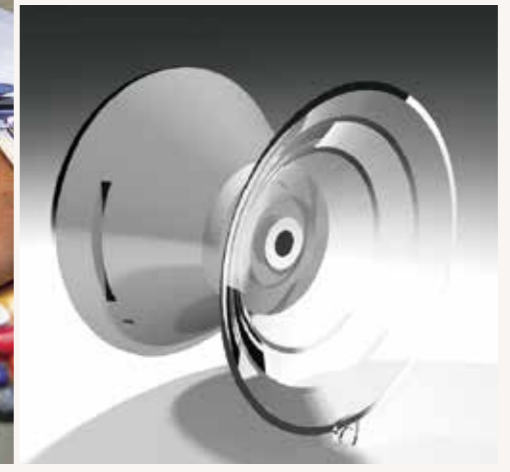


テキスタイル・ファッション



テキスタイルやファッションは素材を知り基本的な技法を知ることから始まります。織る、染める、縫うなどの基本を知識としてだけでなく、体感的に知ることで始めて自分の思いを形にすることができるようになります。

1年次、織は卓上織機で虹色の経糸に任意の緯糸を織り込み織物の構造と織色を、また染めは絞りに通して、布に色が染まる感覚を体験します。縫うことに関しては、異なる生地によるトートバッグ制作の中で色や質感の組み合わせを修得します。
2年次前期には、化学繊維布を用いて染色後、その特性を活かした独自の加工を行い、自由に製品を提案する実習を行っています。
2年次後期、織は大型織機を用いデザインから織りの設計、糸染め・製織・仕上げまでを一貫して行ない、染は型防染と捺染で連続模様の配置等の基礎を学びます。
ファッションは、同一の型紙をアレンジして独自性のあるシャツを制作します。素材の特性を理解し、自分の身体で作るという体験は、デザインを行う上で最強のスキルを獲得できます。身体感覚を研ぎすまし、柔軟な思考と創作は、従来のテキスタイル・ファッションの概念を超えてプロダクトデザイン領域全体で幅広く活かせる力となります。



プロダクトデザイン

家電・情報機器、自動車、家具、日用品といったプロダクトをデザインする上で必要な力（スケッチや図面、CG、材料や素材の知識など）を培います。たとえば実習授業では、1年次後半の課題は「イメージを形にする」。速そうな形、やさしそうな形のように抽象的なテーマに対して、スケッチを描き、立体化し、教員の指導を受けながら洗練させて、最終的にイメージを的確に表現した完成度の高い形を作り上げるという工程を経験します。



さらに2年次の前期は「機能をもった素材（LEDなど）」を活かして新しい道具を提案し、後期は既存の製品を調査した上で「食」に関わる道具を提案するなど、より具体的なテーマに取り組みます。
そして3年次は「実際に社会にあるテーマを基に製品をデザインする」といった、産学協同を念頭に置いたデザイン演習を行います。シンプルなところからスタートし、徐々に段階を上げながら、考え、発想し、具現化し、検証を重ねることで、プロのデザイナーに必要な素養を身につけます。



プロダクトデザイン学科	1年次		2年次		3年次		4年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期・後期
教養科目	スポーツ 英語中級 I 英語中上級 I 英語オーラルコミュニケーション I 英語オーラルコミュニケーション II 英語オーラルコミュニケーション III 英語オーラルコミュニケーション IV 英語オーラルコミュニケーション V 英語オーラルコミュニケーション VI 論理学 統計学	保健体育講義 英語中級 II 英語中上級 II 英語オーラルコミュニケーション II 英語オーラルコミュニケーション III 英語オーラルコミュニケーション IV 英語オーラルコミュニケーション V 英語オーラルコミュニケーション VI 情報リテラシー 基礎ゼミ I	社会心理学 日本文化論 英語上級 I 英語オーラルコミュニケーション II 現代社会論 社会起業 基礎ゼミ II	美術論 文化人類学 環境と社会 法学 (日本国憲法) 地域文化論 科学技術論 英語上級 II 英語オーラルコミュニケーション X キャリア計画実習 I		哲学	
専門教育科目 [学部共通]	基礎造形実習 I (描写) 基礎造形実習 I (造形) 基礎造形実習 I (素材材) 基礎造形実習 I (デザイン) 基礎造形実習 I (複合造形) デザイン概論	色彩学	学外見学実習	学外見学実習			
クロス実習			プロダクト A 視覚 A 美術・工芸 A 建築・環境 A	プロダクト B 視覚 B 美術・工芸 B 建築・環境 B			
学科系	日本美術史 プロダクトデザイン概論 視覚デザイン概論	西洋美術史 形態デザイン論 美術・工芸概論 人間工学 建築・環境デザイン概論	現代芸術論 描写実習 メディア概論 プロダクトデザイン特別講義 視覚デザイン特別講義 都市論 インテリア 空間安全論 文化財学概論 緑地環境計画	美術解剖学 美術・工芸特別講義 商品記号論 ユーザインタフェースデザイン論 マーケティング論 広告論 都市デザイン 居住論 建築史 建築・環境デザイン特別講義	デザイン感性工学 サインデザイン論 パッケージデザイン演習 博物館概論	デザインマネジメント 知的財産権論 機構学 スノーブラン	
地域・社会 連携系			地域協創演習 A インターンシップ A ボランティア実習 A	地域協創演習 B インターンシップ B ボランティア実習 B	地域協創演習 C	地域協創演習 D	
プロダクト デザイン学科 科目	プロダクトコンピュータ基礎演習	基礎造形実習 II (描写) 基礎造形実習 II (造形) 基礎造形実習 II (素材材) 基礎造形実習 II (デザイン) プロダクトコンピュータ演習 プロダクトスケッチ実習 I	プロダクトデザイン基礎実習 I テキスタイル材料学 プロダクトスケッチ実習 II プロダクト3DCG演習 I	プロダクトデザイン基礎実習 II (A) プロダクトデザイン基礎実習 II (B) 生産技術論 プロダクトCAD演習 プロダクト3DCG演習 II ファッション画実習 テキスタイル・ファッションCAD演習	プロダクトデザイン演習 I テキスタイル・ファッション演習 I ゼミ I	プロダクトデザイン演習 II テキスタイル・ファッション演習 II ゼミ II	卒業研究 I・II (通年)

プロダクトデザイン基礎実習

与えられたテーマに対して、教員とスケッチやモデルのチェックをし、アドバイスを受けます。試作を重ねた後、作品を制作し、最終的にはプレゼンテーションを行います。アイデアの展開からモデル制作、プレゼンテーションまでデザインをする上でのプロセスを学ぶことができる授業です。
この授業では考えているデザインを実際の形にする難しさを知ることができました。こだわりを持って制作に取り組むことによって、自分自身と向き合い、成長することができたように感じます。



不織布を絞り染めし、布を合わせて鞆を作りました。最後に不織布の熱を与えると形状維持をするという特徴を生かしてブリーツ加工を施しました。



授業内容

カリキュラムの特徴

プロダクトデザイン学科では、自動車、家電、日用品のような工業製品から手作的なものまで、製品デザインを幅広く学びます。テキスタイルやファッション分野も含むのは、本学科の大きな特徴です。
1年次に「基礎造形実習」で造形の基礎力を養った後、2年次はプロダクトデザインの基礎を学びます。前期はコースに分かれずにすべての学生がプロダクト系の課題とテキスタイル・ファッション系の課題をこなします。後期からは実質的に「プロダクトデザインコース」と「テキスタイル・ファッションデザインコース」に分かれます。
授業は実習・演習が中心でマンツーマンで指導。「イメージを形にする」「機能から発想する」「社会的な課題を解決する」といった段階を踏みながら、デザイナーとして活躍できる実践的な力を身につけていきます。

プロダクトデザイン演習

社会において有用なデザインスキル、デザイナー的思考の体得を目的とする授業で、主にモビリティに関するデザインを専門的に学ぶことができます。市場調査やアイデアの出し方、コンセプト立案、デザインスケッチからモデル制作まで、製品化に至る流れを段階的に学ぶことができます。2年次の授業よりも長い期間、少人数での授業になるため、教員からの意見をダイレクトに聞くことができるのはとても良い環境です。コンセプト提案から最終モデルまでのプロセスを深く学

ぶことができるため、企業実習で行われる短期課題でも焦ることなく計画的に進めることができました。味があることに意識して取り組みれば、それぞれの分野の知識が自然と身につき、将来幅広い職種で活かすことのできる力を養える授業だと思います。
そのためには、各専門分野の教員からの多くのアドバイスを活かして、積極的に学ぼうとすることが大切です。

課題テーマ：2020年にあって欲しいモビリティ
五輪のリングをイメージしたスタイリング



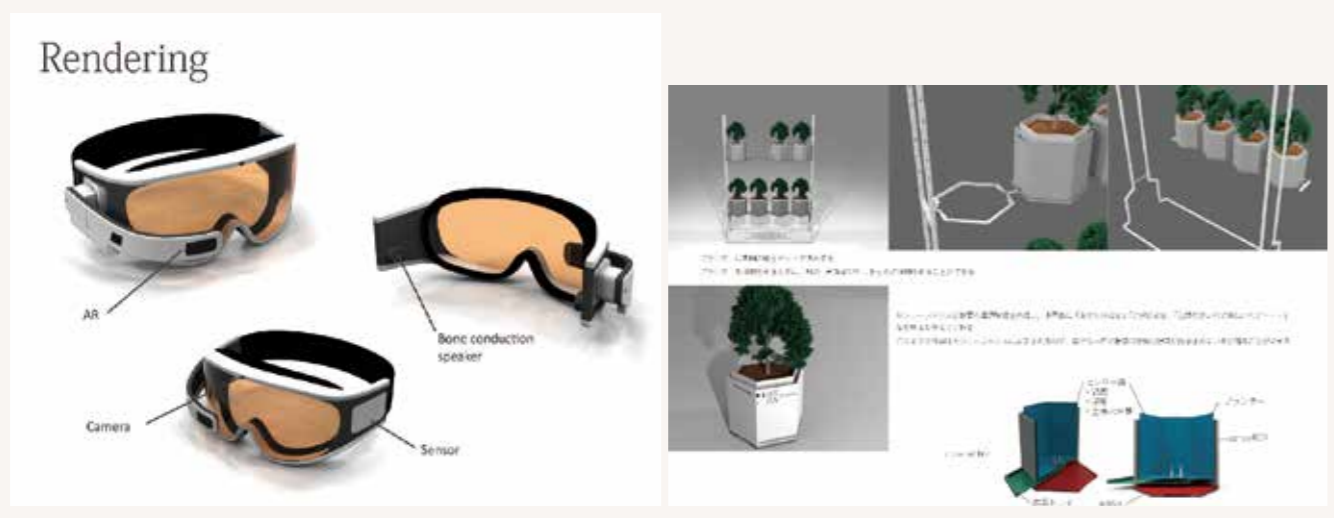
清水 茂孝 Shigetaka Shimizu

プロダクトデザイン学科4年
出身学校：田川高等学校 (長野県)



万谷 晴香 Haruka Mantani

プロダクトデザイン学科3年
出身学校：プール学院高等学校 (大阪府)



長岡 IoT 推進協議会との産学協同授業

プロダクトデザイン学科3年生を対象に「IoT」をテーマに産学協同授業を実施しました。
 IoT: Internet of Things は普通、モノのインターネットと訳され、様々なモノがインターネットにつながることで解釈されますが、重要な意味はPC やスマホだけではなく、あらゆるモノがインターネットにつながりITを活用することで、新しいコトを生み出すモノが実現可能になることです。
 学生のアイデアにはIoTの持つ今後の可能性を感じさせるものがあり大変好評でした。
 2016年度も実施し、有望な提案は試作、製品化することを視野に入れて取り組むことにしています。



ニイガタ IDS デザインコンペティション

学生が参加したプロジェクト「小国和紙×足立茂久商店コラボ」「長岡藤家具研究会」の成果が同コンペティションに出品されました。
 昨年、行われたニイガタ IDS デザインコンペティション 2015 においては「長岡藤家具研究会」の「藤ソファ」が大賞を受賞しました。



ファッションショー「Mirror Mirror」

卒業研究作品を中心にファッションを学ぶ学生が、それぞれデザイン・制作した衣装を披露しました。
 当日は衣装のみならず、舞台や映像演出などにおいても各学科・学年の学生たちが協力し、トータルで演出しました。



第10回 金の卵 オールスター デザイン ショーケース (アクシスギャラリー主催/企画) photo: Nacása & Partners



第10回 金の卵 オールスター デザイン ショーケース

第10回 金の卵 オールスター デザイン ショーケース (アクシスギャラリー主催/企画) に吉岡大樹さんの作品が出品されました。同展では、日本全国の各大学から選抜または公募で選ばれたデザイン系学部3年生(一部、大学院生)の作品が展示・紹介されました。



吉谷 早紀
「朽美 (きゅうび)」



山賀 彩芽
「女性向けの酒器の提案」



西村 駿兵
「TreeTent 木々の中の空中テント」
- 自然をより身近にするプロダクトの研究 -



竹石 莉奈
「閃々」- テキスタイル複合技法による水の表現 -



須永 夏海
「春の野、炎陽」- 季節を黄色で表現する -



鈴木 助
「アウトドアで使用するためのカート」- カートが利用される場面を創出し、新たな可能性を探る -



佐藤 凌太郎
「机に向かう姿勢を支える新しい椅子のかたち」
- 机に向かう姿勢に適した椅子の研究 -



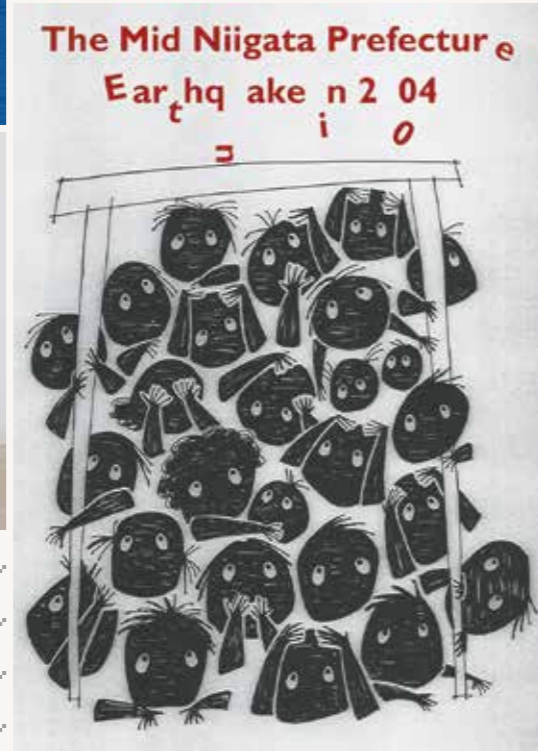
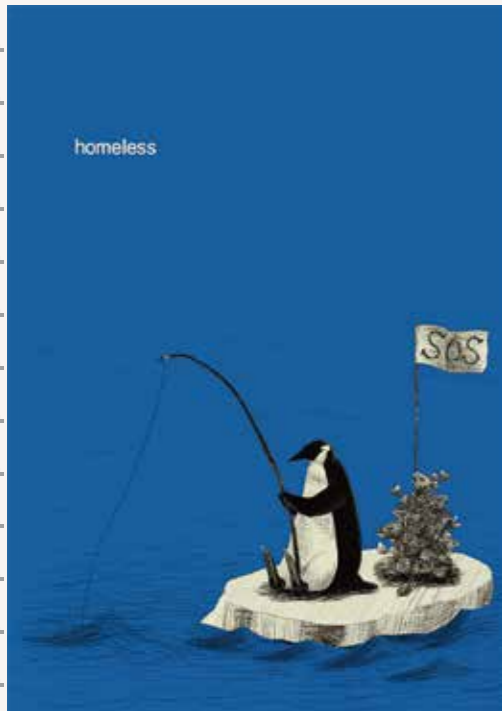
中森 幸太
「EM-MC (electric monster motorcycle concept)」
- 2020年のモーターサイクルの提案 -



坂井 円美
「anello」- 家族が集まり楽しくコミュニケーションがとれるリビング雑貨 -



牧野 健太郎
「liberation」





写真・映像

写真・映像それぞれの知識や技術を学びます。写真では、デジタル一眼レフの使い方から、スタジオでの物撮りやポートレイトを経験。1年次に身につけた基礎造形力を生かし、撮影した写真でポスターも制作します。映像では、ビデオカメラによる撮影と編集、さらに一眼レフによる動画の撮り方を修得します。また、ACCジャパンCM学生賞に向けた作品づくりや、客員教授・大林宣彦監督の撮影現場の手伝いなど、実践的な学びの機会もあります。

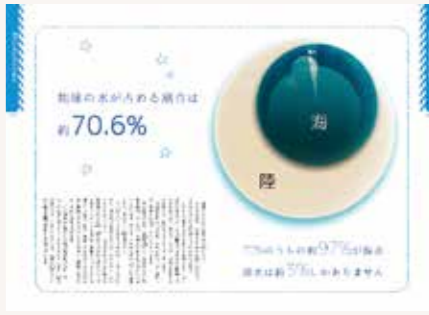
Web・アプリ

1年次の授業でコンピュータの基本的な操作方法、各種のグラフィックソフトウェアの使い方を修得します。これはアイデアやビジュアルを実際に制作する技術となります。昨今、視覚デザインの領域が広がっていますが、Webを中心とした世界は劇的な変化を見えています。様々な社会からのニーズに 대응するために新しい要素も取り入れて授業を行っています。例えばスマートフォンで見られるWebページやアプリへの対応も授業で取り組み、実際の制作を行っています。



エディトリアル・DTP

エディトリアルとは、文字や写真・イラストレーション・図版などの素材を目的に応じて整理して構成する編集技法のことです。エディトリアルデザインとは、編集された素材を紙面に視覚的に、なおかつ効果的にレイアウトしたりする技法です。その領域は紙媒体にとどまらず、デジタル環境まで広がります。1・2年次で学んだタイポグラフィやWebの知識や技術を以降の授業で活かしていきます。またDTPでは、就職先で要求される最低限の専門的なオペレーション技術を修得することを目的とします。4年次の卒業研究では、より独創的な編集とデザインの研究を行います。



イラストレーション

イラストレーションは、ヴィジュアルでコミュニケーションするための一つの手段です。より良いコミュニケーションを図るためには制作者のメッセージと魅力的な表現が必要です。そのため、授業では次の2点を大切にしています。(1)課題のテーマを調査・理解し、自分なりの提案をすること。(2)アナログ、デジタルに関わらず独自の表現を獲得すること。1・2年次に身につけたデザイン力を土台にし、個々の表現を模索します。

広告・ブランディング

実際にある店舗を想定して、ポスターやフライヤー、名刺を制作するなど、ブランディングやプロモーションの方法を学びます。対象となるブランドや商品の本質を探り、根幹を定めた上でトーン&マナーを設定。これを形として表現し、プレゼンテーションするところまで経験します。また、NIDの特長である地域との繋がりを活かした地元企業の広告や商品パッケージを制作したり、新商品を提案することもあります。



彩る。



インフォメーションデザイン

インフォメーションデザインが目指すのは情報の視覚化です。たとえば、データグラフをビジュアル化してわかりやすくしたり、避難や誘導に必要なサインをぱっと見て伝わるデザインにするなどの方法を学びます。バスの時刻表のデザインの制作といった、実践的な授業も行っています。情報化が進む現代、インフォメーションデザインは多くのシーンで必要とされています。広告やグラフィックをはじめ、様々な分野で活かせる学びです。



授業内容

カリキュラムの特徴

視覚デザイン学科は、広告・Web、写真、映像、イラストレーションなどのヴィジュアルデザイン全般を学ぶ学科です。

1年次は全学科共通の「基礎造形実習」で造形の基礎、「視覚コンピュータ基礎演習」でコンピュータをツールとして使いこなす力を身につけます。

2年次は、「視覚デザイン基礎演習」で課題について百案考えるなど、発想力・柔軟性を身につけます。またタイポグラフィ、写真、描写、Web、DTPから選択し、個々の必要とする能力を伸ばします。

造形の基礎と発想力を土台とし、3年次には広告・グラフィックを中心とした「伝達デザインコース」または、個々の表現を活かしヴィジュアルコミュニケーションする「表現デザインコース」を選択します。合わせて、ゼミで選択した教員から専門的知識を学びます。

4年次は個々のテーマを設定し、これまで培った考え方や表現を用いて集大成となる制作に当たります。このように学年ごとに力を蓄え、ヴィジュアルデザインで様々な課題を解決できる力を養います。



専門教育の流れ

視覚デザイン学科	1年次		2年次		3年次		4年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期・後期
教養科目	スポーツ 英語中級 I 英語中上級 I 英語オーラルコミュニケーション I 英語オーラルコミュニケーション II 英語オーラルコミュニケーション III 英語オーラルコミュニケーション IV 英語オーラルコミュニケーション V 英語オーラルコミュニケーション VI 論理学 統計学	保健体育講義 英語中級 II 英語中上級 II 英語オーラルコミュニケーション II 英語オーラルコミュニケーション III 英語オーラルコミュニケーション IV 英語オーラルコミュニケーション V 英語オーラルコミュニケーション VI 情報リテラシー 基礎ゼミ I	社会心理学 日本文化論 英語上級 I 英語オーラルコミュニケーション II 現代社会論 社会起業 基礎ゼミ II	美術論 文化人類学 環境と社会 法学 (日本国憲法) 地域文化論 科学技術論 英語上級 II 英語オーラルコミュニケーション X キャリア計画実習 I		哲学	
専門教育科目 [学部共通]	基礎造形実習 I (描写) 基礎造形実習 I (造形) 基礎造形実習 I (素材) 基礎造形実習 I (デザイン) 基礎造形実習 I (複合造形) デザイン概論	色彩学	学外見学実習	学外見学実習			
クロス実習			プロダクト A 視覚 A 美術・工芸 A 建築・環境 A	プロダクト B 視覚 B 美術・工芸 B 建築・環境 B			
学科系	日本美術史 プロダクトデザイン概論 視覚デザイン概論	西洋美術史 形態デザイン論 美術・工芸概論 人間工学 建築・環境デザイン概論	現代芸術論 描写実習 メディア概論 プロダクトデザイン特別講義 視覚デザイン特別講義 都市論 インテリア 空間安全論 文化財学概論 緑地環境計画	美術解剖学 美術・工芸特別講義 商品記号論 ユーザインタフェースデザイン論 マーケティング論 広告論 都市デザイン 居住論 建築史 建築・環境デザイン特別講義	デザイン感性工学 サインデザイン論 パッケージデザイン演習 博物館概論	デザインマネジメント 知的財産権論 機構学 スノーブラン	
地域・社会連携			地域協創演習 A インターンシップ A ボランティア実習 A	地域協創演習 B インターンシップ B ボランティア実習 B	地域協創演習 C	地域協創演習 D	
視覚デザイン学科科目	視覚コンピュータ基礎演習	基礎造形実習 II (描写) 基礎造形実習 II (造形) 基礎造形実習 II (素材) 基礎造形実習 II (デザイン) 視覚コンピュータ I	視覚デザイン基礎演習 I 視覚コンピュータ II 写真映像基礎 描写表現基礎 タイポグラフィ基礎	視覚デザイン基礎演習 II Web デザイン DTP タイポグラフィ 写真映像 描写表現	伝達デザイン演習 I 表現デザイン演習 I ゼミ I ポートフォリオ アニメーション・モーショングラフィックス ヴィジュアルアイデンティティ	伝達デザイン演習 II 表現デザイン演習 II ゼミ II ポートフォリオ インフォメーションデザイン Web・エディトリアルデザイン コマース演習	卒業研究 I・II (通年)

視覚デザイン基礎演習

この演習は、テーマに基づき自分なりの答えを見つけて、それらを表現していく授業です。答えは一つではなく、講評の際に様々な学生の考えに触れることができるのもこの授業の醍醐味の一つです。課題制作では、特に「アイデア」が重視されるため、考え方や物の見方を普段と少し変えてみる必要があります。アウトプットの方法に制限はなく、自分の得意分野で自由に制作できるので、絵やイラストの平面作品から様々な素材を使った立体作品、写真・映像など多様な表現方法を学ぶことができるのも特徴です。分野を問わず自分が目指したい、あるいは興味があることに意識して取り組めば、それぞれの分野の知識が自然と身につく、将来幅広い職種で活かすことのできる力を養える授業だと思います。



「キラライス」販売を目的とした米の商品パッケージを考える

涌井 渚 Nagisa Wakui

視覚デザイン学科3年
出身学校：高田高等学校（新潟県）



地域協創演習

長岡市小国町を舞台にした地域復興イベントの企画・運営をしました。イベント名は「オグニー 未知との接触」。小国町に宇宙人が降り立った、という設定のもとに開催したSF 肝試しです。広報物の制作から空間の演出までをゼミの仲間と分担して行いました。この授業では思い入れを持って制作に取り組む姿勢を学びました。イベントの一員として名前がク

レジットされる以上、「これは自分の作品だ」という気概を持つことが大切だと思います。そんな一人一人の思いが集まったことで、素晴らしいものができました。社会に出てからの仕事は殆どが共同制作だと思うので、その心構えも学びました。



浮蓮 要 Kaname Ukihasu

視覚デザイン学科 2016年卒業
出身学校：巻高等学校（新潟県）





第12回 AC ジャパン CM 学生賞において「優秀賞」を受賞

現代社会の抱える問題に対し、次世代を担う NID の学生たちが公共広告の制作を通してマナー向上の啓発と独自の表現方法の開発を目指し制作しました。小さな吸い殻が巨大になるという映像効果を用いて、タバコのポイ捨てというありふれた日常のテーマに対し、新たな切り口で挑んだ作品が評価されました。

「その吸い殻、小さく見えるのはあなただけ」 テーマ：タバコのポイ捨て

制作者：脇川 諒（制作代表者）、近野 凌平、大山 顕太郎、塚本 望徳



2015 正官庄国際デザインコンペティションにおいて「銅賞」ほか4名が受賞・入選

韓国で開催された2015 正官庄国際デザインコンペティションにおいて4名が受賞・入選しました。（授賞式：平成27年12月15日）このコンペティションは株式会社 韓国人蔘公社（高麗人参の販売を行う会社）と韓国ブランドデザイン学会が主催しているものです。

「正官庄ティンケース（ブリキ製ケース）デザイン」部門

銅賞・特選・入選：寺崎 元貴 特賞：細野 修司 入選：清水 将史、眞田 晴夫 指導教員賞：金 傘洙 助教



長岡市合併10周年記念ロゴマークの制作

平成27年は長岡地域市町村合併から10年の記念の年。11の各地域の「市民力」「地域力」を生かし、個性を伸ばしながら長岡市全体として調和のとれたまちづくりをめざしてきました。「あなたの長岡 わたしの長岡」～11の地域の個性が醸し出す豊かなハーモニー～というキャッチフレーズのもと、11の各地域が持つキラキラと輝く個性と調和をデザインしたロゴマークです。各種媒体に積極的に活用され、記念事業の盛り上げに貢献することができました。

制作者：松井 美楠子（採用者）、小飯田 大地、小林 南穂、高橋 明楓



フリーペーパー「長岡野菜 BOOK」の制作

平成26年度から長岡野菜の魅力を長岡市民に伝えるとともに、長岡市の観光資源となりうる「食」に係わるヒト・コト・モノの情報発信を目的に、年2回フリーペーパーを発行しています。平成26年度には12,000部（vol.1、vol.2）を発行しましたが、好評につき平成27年度は16,500部（vol.3、vol.4）に増やしました。このフリーペーパーは長岡市農政課の支援と監修により、市内の各施設や長岡野菜を扱う飲食店などで配布しています。本プロジェクトは、学生が企画から取材・編集・デザインまでの実践的な一連の作業を通して、デザインの現場で求められる「物事に進んで取り組む力」を育成します。



村上 愛
「Le colis (ルコリ)」-若い女性が使いたくなる風呂敷のパターンデザインの研究-



松井 美楠子
「TERARI」-お坊さんの婚活プロモーション-



小泉 美丹
「神秘燦水」-写真による水の神秘的で不思議な世界の表現-



小林 南穂
「Gikichi」-新しいぼち袋のデザインとブランドの研究-



柳澤 夏海
「信州連峰」-信州の山々の線によるビジュアル表現研究-



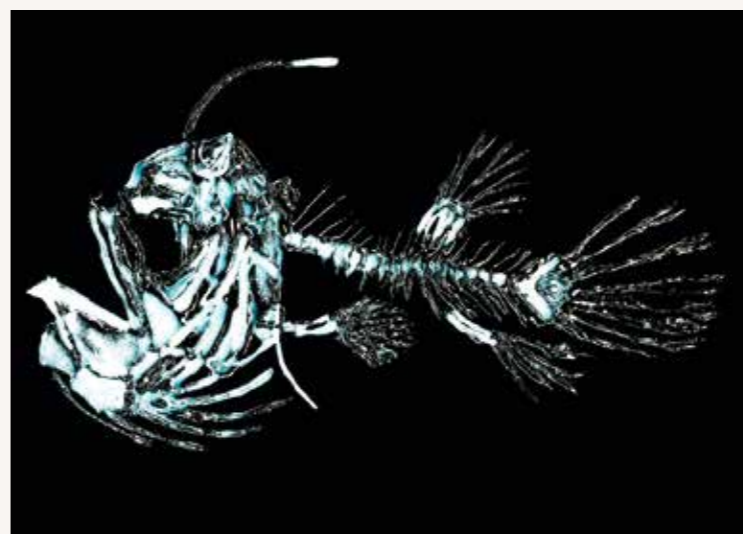
上村 春菜
「まるまるだるま」-「だるま」のデザインの研究-



相田 真奈美
「キッチンパーティー」-イラストレーションの再構成と空間的表現-



神林 寛人
「escort」-モンスターを守ることをテーマとしたゲームアプリの制作-



本田 芳也
「Face of the bone」
-接着剤を用いた新たな描写表現の研究-



松田 明莉
「新訳万葉集」
-タイポグラフィを用いた、万葉集の新しい解釈の表現-





彫金

彫金には、N I Dの横断的な学びが活きます。

彫金は鑿を用い、金属に彫りを施したり緻密な造形を行う技法で、器物や建造物の装飾、ジュエリーやクラフトなどにその技術が用いられます。細かい仕事なので、道具にこだわり、制作環境を整えることが必要です。実習を通し技術を培いますが、知識を深めることも大切。弥生時代から続く彫金の歴史や、先人の制作技法を知ることが、作品づくりの土台となり、発想の助けとなります。ジュエリーのように幅広い視点が必要となる作品づくりには、N I Dの横断的な学びが活きます。



絵画

必要とされながら、アーティストとして生きる方法を考えます。

素描、油彩をはじめ、コラージュ、イラスト、マンガなど、各自の興味に応じて幅広く学べます。作品制作を積み重ねる中で、ものづくりの目的や考え方を明確にするとともに、独自性の発見に努めます。一方、卒業後の社会との関わり方にも目を向けます。たとえば、制作の場であるアトリエを、アトスペースとして地域の人に開放するなど、社会と上手に関わり、



銅版画・シルクスクリーン

版画単体ではなく、絵画の一領域として捉えています。版画の技術を磨く道を選ぶこともできますが、多くの学生は絵画を描くための表現手法のひとつとして取り入れています。また作品づくりを通して、自分と向き合い、自分なりの表現を掘り下げることに重きを置いています。ミクストメディア（性質や種類の異なる複数の素材を組み合わせて作品をつくる現代美術の技法）を行う上で、版画の知識や技術の修得は強みとなります。



鋳金

鋳金では金属工芸技術の修得として鋳起・絞り技法を学びます。

それは長岡市に隣接する燕市・三条市で伝承されてきた「鋳起銅器」の技術であり、一枚の銅板を打ち延ばし継ぎ目のない器にしていくもので伝統工芸品にも指定されています。その地場ならではのメリツトを活かし、制作現場の見学も行います。

鍛金

本領域では、これらの技法や知識に触れ、銅以外にも鉄や真鍮、アルミ等、多様な金属素材を用い、自らの発想による多様な作品制作を行う力を養います。



彫刻

自分と向き合い、一歩一歩成長していきます。

彫刻はブロンズ像や仏像と思われがちですが、実際にはその領域は広範囲に及びます。表現方法が多岐にわたり、絵画や工芸と領域をまたぐような作品もあります。本学科では「彫刻」という言葉に縛られず、各自が表現したい方法を見つけ、これに必要な技術を身につけて形にし、発信する力を培います。そのために基礎力（技術、表現力、計画性）は欠かせません。個別的な指導を受けながら、自分と向き合い、一歩一歩成長していきます。



ガラス

暮らしを彩る器からアートまで、ガラスを使った幅広い表現を学びます。吹きガラス、切り、ガラス鑄造などの技法を経験する中で、自分と向き合い、表現したいものを見つけるとともに、他者への視点も育みます。もろくてはかなく、壊れやすいガラスだからこそ、暮らしを豊かにする方法を考えることを大切にしています。また、エコの視点から注目されている、リサイクルガラスを使った作品づくりも行っています。

美術・工芸 学科	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期・後期
教養科目	スポーツ 英語中級 I 英語中上級 I 英語オーラルコミュニケーション I 英語オーラルコミュニケーション II 英語オーラルコミュニケーション III 英語オーラルコミュニケーション IV 英語オーラルコミュニケーション V 英語オーラルコミュニケーション VI 論理学 統計学	保健体育講義 英語中級 II 英語中上級 II 英語オーラルコミュニケーション II 英語オーラルコミュニケーション III 英語オーラルコミュニケーション IV 英語オーラルコミュニケーション V 英語オーラルコミュニケーション VI 情報リテラシー 基礎ゼミ I	社会心理学 日本文化論 英語上級 I 英語オーラルコミュニケーション II 現代社会論 社会起業 基礎ゼミ II	美術論 文化人類学 環境と社会 法学（日本国憲法） 地域文化論 科学技術論 英語上級 II 英語オーラルコミュニケーション X キャリア計画実習 I		キャリア計画実習 II	哲学
専門教育科目 [学部共通]	基礎造形実習 I (描写) 基礎造形実習 I (造形) 基礎造形実習 I (素材) 基礎造形実習 I (デザイン) 基礎造形実習 I (複合造形) デザイン概論	色彩学	学外見学実習	学外見学実習			
クロス実習			プロダクト A 視覚 A 美術・工芸 A 建築・環境 A	プロダクト B 視覚 B 美術・工芸 B 建築・環境 B			
学科系	日本美術史 プロダクトデザイン概論 視覚デザイン概論	西洋美術史 形態デザイン論 美術・工芸概論 人間工学 建築・環境デザイン概論	現代芸術論 描写実習 メディア概論 プロダクトデザイン特別講義 視覚デザイン特別講義 都市論 インテリア 空間安全論 文化財学概論 緑地環境計画	美術解剖学 美術・工芸特別講義 商品記号論 ユーザインタフェースデザイン論 マーケティング論 広告論 都市デザイン 居住論 建築史 建築・環境デザイン特別講義	デザイン感性工学 サインデザイン論 パッケージデザイン演習 博物館概論		デザインマネジメント 知的財産権論 機構学 スノーブラン
地域・社会 連携系			地域協創演習 A インターンシップ A ボランティア実習 A	地域協創演習 B インターンシップ B ボランティア実習 B	地域協創演習 C	地域協創演習 D	
美術・工芸 学科科目	美術・工芸コンピュータ基礎演習	基礎造形実習 II (描写) 基礎造形実習 II (造形) 基礎造形実習 II (素材) 基礎造形実習 II (デザイン) 美術・工芸コンピュータ演習 プロダクトスケッチ実習 I	美術・工芸基礎演習 I (A) 美術・工芸基礎演習 I (B) 美術・工芸基礎演習 I (C) 表示図法 プロダクトスケッチ実習 II プロダクト 3DCG 演習 I	美術・工芸基礎実習 II 美術・工芸材料学 古美術研究 生産技術論 プロダクト 3DCG 演習 II プロダクト CAD 演習	美術表現演習 I クラフトデザイン演習 I ゼミ I 美術工芸史 美術・工芸・デザイン分析	美術表現演習 II クラフトデザイン演習 II ゼミ II	卒業研究 I・II (通年)

美術表現演習

3 年生はドローイングを中心とした制作活動を行います。授業では、制作したものについて教員からレクチャーを受け、講評してもらいます。後期では、シルクスクリーン、テンペラなどの表現方法も学びます。1 年間、じっくり自分と向き合い深く考えられる授業でした。行き詰ってしまった時は、アドバイスを貰ったり指導をしていただいたりして、自分の新しい考えや視野を広げることができました。卒業制作に向けた指導もあり、とてもためになる授業内容でした。



和田 のぞみ Nozomi Wada

美術・工芸学科 4 年
出身学校：小出高等学校（新潟県）



美術・工芸基礎演習

美術と工芸の技法を用いた作品を制作しながら、それぞれの技法と分野について学ぶ、美術・工芸学科の中心となる授業です。それぞれの作品は、約 1 ヶ月の時間をかけて制作します。絵画などの平面作品や立体作品を制作しながら、自分なりの表現を追求していきます。作品の講評会では、自身の作品についてしっかりとプレゼンすることも求められます。様々な材料に触れながら、様々な作業道具を使って制作をします。美術・工芸学科の授業は「もの」と向き合うことが中心です。画面上の作業ではない、手先を使う経験が多くできることが、この授業の良いところだと思います。

川橋 健人 Kento Kawahashi

美術・工芸学科 3 年
出身学校：宮城野高等学校（宮城県）



「美術表現（絵画、版画、彫刻）」と「クラフトデザイン（彫金、鍛金、鍍金、ガラス）」を学びます。専門分野を探索するだけでなく、「手でものをつくること」（造形）をベースに、知識や技術を全体的・横断的に培います。1 年次は全学科共通の「基礎造形実習」で基礎的な力を養います。続いて 2 年次前期の「美術・工芸基礎演習」では、絵画と写真を使ったコラージュ、テラコッタと金属を組み合わせた造形物、ガラスと金属を使った照明器具などを制作。幅広いものづ

くりを経験する中で、素材の特性を知り、組み合わせ、造形する力を培います。2 年次の後期に入ると自分の専門性を見極め、3 年次に向けてコース（美術表現コース、クラフトデザインコース）を検討。3 年次は選んだコースの演習やゼミに参加し、専門分野の知識や技術をさらに高めます。ただ、他分野との境界がないのが本学科の利点。専門に捉われず自由に発想し、表現したいものに合った手段や素材を選び、作品づくりに励みます。

授業内容

カリキュラムの特徴





第10回 新潟県伝統工芸展

第10回新潟県伝統工芸展 公募 - 受け継がれた「技」と「美」に、歴史と文化の明日を見る -
 この公募展は、新潟における伝統工芸の保存と発展を目的とし、新潟県内から工芸作品を一般公募した展覧会です。
 入選/齋藤 晃央「蠟型鑄銅花器」(大学院2年次作品)(鑄金)(写真右)
 荘司 岳「魴鮒帯留金具」(大学院2年次作品)(彫金)(写真左)



第54回 長岡市美術展覧会

第54回長岡市美術展覧会で、学生が新潟日報美術振興賞を受賞・入選しました。
 新潟日報美術振興賞/吉川 裕俊 「慈愛」(3年次作品)(写真左)
 入選/高松 弥生 「彼方の国」(3年次作品)(写真右)



第55回 日本クラフト展

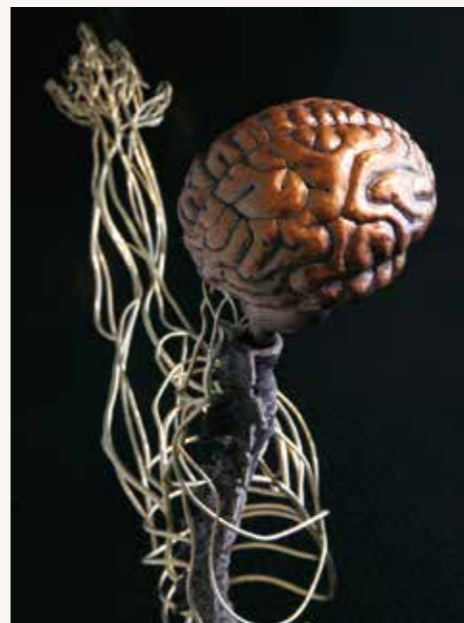
第55回日本クラフト展 - 暮らしが選ぶクラフト-
 日本のクラフトデザイン文化の向上に寄与するとともに優秀なクラフトマンの発掘や、次世代のクラフトマンの育成を目的にしている公募展です。
 入選/室山 春香「タコ皿」(3年次作品)(ガラス)(写真上)
 荘司 岳「Fresh Fruit Fish」(大学院2年次作品)(彫金)(写真下)



石山 恭兵 (彫金)
「Scroll Works」 - 彫金技法により表現する唐草紋様 -



樋口 菜依 (ガラス)
「女郎蜘蛛の巣」 - 線表現を利用したホウケイ酸ガラスによる可能性の研究 -



椿 竜之介 (鍛金)
「Transmission」
- 鍛金技法による人体の表現 -



齋藤 見央 (鋳金)
「青銅組器 「佇む」」
- 鋳造技法を用いた器物制作による、形態造形の探求 - (修了作品)



齋藤 絵莉 (彫刻)
「未来へ」 - 繊維素材を用いた立体表現 -



菅原 実子 (ガラス)
「かほばな」 - ガラスから見える茶の湯の世界 -



渡邊 葉月 (鍛金)
「type」 - 鍛金技法による 器形態を用いた表現の研究 - (修了作品)



茨木 綾子 (鍛金)
「いのちの綾」 - 金属素材の織を用いたオブジェの制作 -



西山 綱彦 (彫金)
「リフレクション」 - 銀板の多面構成によるジュエリーの展開 -



堀川 真由 (ガラス)
「小さな物語」 - レリーフによるガラスのタイルと立体表現 -



荘司 岳 (彫金)
「遊泳」 - 高肉打ち出し技法を用いた装身具の制作 - (修了作品)

建築・環境デザイン学科

今は生物多様性の時代
メトロポリスより、自然豊かな環境の方が先を行く



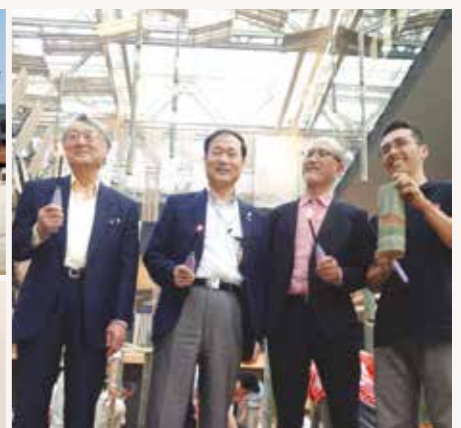
学べる分野

建築デザイン

住宅や公共施設、店舗や大規模な商業施設など、様々な建築物のデザインや意匠、建築計画、構造計画について学びます。建築と環境を学ぶ学科という特性を活かし、建物単体で捉えるのではなく、周辺環境を見極め、ランドスケープデザインまで含めた「環境建築」を考えます。卒業研究では、社会的視点に立った上で、建築・まちづくり・インテリア・ランドスケープ・文化財建造物保存の全てを融合するデザイン力を養います。



学科の全1年生が取り組むイースの製作、昨年度はこの「paper」(高橋由佳)が、豊口賞に輝いた。展示&審査会場はアオーレ長岡。



森民夫長岡市長(写真中央)は、東京大学建築学科のご出身で一級建築士。写真の背景は、アオーレ長岡(長岡市役所)で、森市長が立案し、設計競技で優勝した隈研吾 長岡造形大学客員教授(東京大学教授)が設計した名建築です。豊口協 長岡造形大学名誉教授(写真左端)は、プロダクトデザイナーであり、グッドデザイン賞の生みの親です。上野裕治教授(右から2人目)はランドスケープデザイナーで、次ページ上部写真の「越後みしま竹あかり」のイベントに尽力しました。

都市計画・まちづくり

現存する都市やまちを良くしたり、空洞化が進むまちに人を集め、賑わいを取り戻すための方法を学びます。たとえば「地域協創演習」では、対象地域を様々な角度から調査・分析した上で、イベントを企画し、デザイン、制作、設営、運営、撤去までを実践(「撰田屋こへび隊」など)。一方、地震国日本にとって重要な都市防災もテーマです。逃げ込む場所となる防災公園を地域の活性化に活かすなど、ハード、ソフト両面の学びを深めます。



長岡市立であるNIDは、アオーレ長岡でのイベントに参加しています。写真は「越後みしま竹あかり in アオーレ長岡」で、上野裕治教授がデザインの中心となり実施されました。学生たちも手伝った素敵な環境空間です。

インテリアデザイン ディスプレイデザイン

住宅やオフィスのようなプライベートインテリアから、商業施設や文化施設のようなパブリックインテリアまで、幅広く学びます。一方、ディスプレイの目的は「情報をいかに伝達するか」。ショーウィンドウや博物館などに対象物を置く際の、効果的な配置や照明法などを学びます。インテリアもディスプレイもアイデアは大切ですが、依頼主の納得が得られてこそ。考えをコンセプトに落とし込み、プレゼンテーションする力を実践的に養います。



ランドスケープデザイン

建物と敷地の関係性を考えながらデザインすることを学びます。ベースになるのは、樹木や草、石、鳥や虫、生態系と、自然を形成するものへの理解。キャンパス内にある、18世紀のイギリスの「自然風景式庭園」やピオトープをはじめ、信濃川や近隣の山里など、身近にあふれる豊かな自然は教材です。土地の性格を読み解きながら、コンセプトを組み立てます。ランドスケープの学びは、風景をデザインすることであり、建築デザインの幅や奥行きを広げるものです。

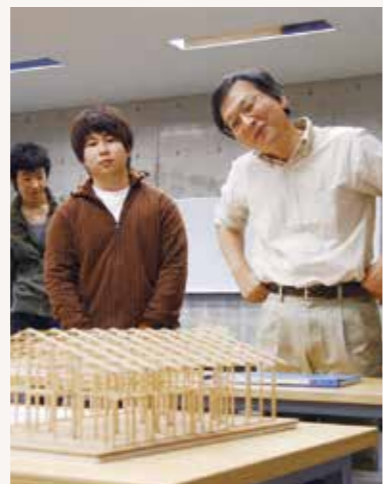


NIDの素敵なランドスケープは、石川幹子先生(中央大学教授、東京大学名誉教授)によってデザインされました。上写真は、2年次後期の「建築・環境デザイン特別講義」にて、先生がそのデザインを学生たちに歩きながら説明しているところです。本学中庭では、しだれ桜(左写真)が「点」を意味し、「線」は黒御影石の直線舞台、「面」は円形芝生です。建築家の伊東豊雄氏(長岡リリックホールの設計者)との協働も多く、建築とランドスケープの素晴らしい関係を構築されています。



歴史的な建物の保存や活用について学んでいきます。まちなかにたたく建物などを調査して、価値を判断して文化財指定へ導きますが、対象は身近にある築50年を経た民家、町家、洋館にも及びます。歴史的建造物の修理現場を見学するとともに、実際の建物を調査し、改修案を考えます。古民家の再生、リノベーション、歴史的な町並みの保存・活用など領域は広く、まちづくりやインテリアデザインなど、他分野と連動させた学び方もできます。

文化財建造物保存



専門教育の流れ

建築・環境 デザイン学科	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期・後期
教養科目	スポーツ 英語中級 I 英語中級 II 英語中級 I 英語オーラルコミュニケーション I 英語オーラルコミュニケーション II 英語オーラルコミュニケーション III 英語オーラルコミュニケーション IV 英語オーラルコミュニケーション V 英語オーラルコミュニケーション VI 論理学 統計学	保健体育講義 英語中級 II 英語中級 II 英語オーラルコミュニケーション II 英語オーラルコミュニケーション III 英語オーラルコミュニケーション IV 英語オーラルコミュニケーション V 英語オーラルコミュニケーション VI 情報リテラシー 基礎ゼミ I	社会心理学 日本文化論 英語上級 I 英語オーラルコミュニケーション II 現代社会論 社会起業 基礎ゼミ II	美術論 文化人類学 環境と社会 法学 (日本国憲法) 地域文化論 科学技術論 英語上級 II 英語オーラルコミュニケーション X キャリア計画実習 I		キャリア計画実習 II	哲学
専門教育科目 [学部共通]	基礎造形実習 I (描写) 基礎造形実習 I (造形) 基礎造形実習 I (素材) 基礎造形実習 I (デザイン) 基礎造形実習 I (複合造形) デザイン概論	色彩学	学外見学実習	学外見学実習			
クロス実習			プロダクト A 視覚 A 美術・工芸 A 建築・環境 A	プロダクト B 視覚 B 美術・工芸 B 建築・環境 B			
学科系	日本美術史 プロダクトデザイン概論 視覚デザイン概論	西洋美術史 形態デザイン論 美術・工芸概論 人間工学 建築・環境デザイン概論	現代芸術論 描写実習 メディア概論 プロダクトデザイン特別講義 視覚デザイン特別講義 都市論 インテリア 空間安全論 文化財学概論 緑地環境計画	美術解剖学 美術・工芸特別講義 商品記号論 ユーザインタフェースデザイン論 マーケティング論 広告論 都市デザイン 居住論 建築史 建築・環境デザイン特別講義	デザイン感性工学 サインデザイン論 パッケージデザイン演習 博物館概論	デザインマネジメント 知的財産権論 機構学 スノーブラン	
地域・社会 連携系			地域協創演習 A インターンシップ A ボランティア実習 A	地域協創演習 B インターンシップ B ボランティア実習 B	地域協創演習 C	地域協創演習 D	
建築・環境 デザイン学科 科目	基礎数学 製図実習 建築・環境コンピュータ基礎演習	基礎造形実習 II (描写) 基礎造形実習 II (造形) 基礎造形実習 II (素材) 基礎造形実習 II (デザイン) 建築・環境デザイン演習 I 建築構法 建築・環境 CAD 実習	建築・環境デザイン演習 II 建築材料実験 建築環境工学 建築計画 I 建築・環境 CG 実習 I 都市計画 測量学実習 住宅リフォーム論	建築・環境デザイン演習 III 構造力学 I 建築材料 建築構造 建築計画 II 緑地環境設計 建築・環境 CG 実習 II	構造力学 II 建築設備 建築設計 エコロジカルプランニング 建築法規 建築・インテリア演習 I 環境計画・保存演習 I ゼミ I	建築施工 コミュニティデザイン 建築・インテリア演習 II 環境計画・保存演習 II ゼミ II	卒業研究 I・II (通年)

小川 大地 Daichi Ogawa
建築・環境デザイン学科 4 年
出身学校：帝京長岡高等学校 (新潟県)



建築・環境デザイン演習 I

演習では自分自身で建築をデザインし図面を描き、模型や CG 制作で空間を表現していきます。演習の課題は全部で 4 つあり、最初は小スケールなもの、最後は家族のための住宅設計と、徐々に設計していく空間が広がるので自然とスケール感覚も身についていきます。自分で設計図を描くので身の回りのものをメジャーで測るクセができました。部屋の寸法、扉や窓、机や椅子などの家具まで測ります。やはり自ら動いて寸法を把握していくと記憶に残りますし、実寸をよりリアルに感じられるので役に立ちます。きっと将来にも活かせると思います。

製図実習

細かい線や文字、まっすぐな線、綺麗な図面を PC を使わず自分の手で描く、木造や RC 造の建物の製図、透視図を描きながら壁と床と天井の構造、基本的な建物用語や楽しい模型制作・プレゼンテーションを学びます。演習では、自分の頭の中の案を相手にわかってもらう、そのために必要不可欠なのが図面です。図面をしっかり描かずに進むと模型の制作が上手くできません。図面は建築で非常に重要な要素です。



近藤 祐未 Yumi Kondo
建築・環境デザイン学科 3 年
出身学校：新潟向陽高等学校 (新潟県)

授業内容

カリキュラムの特徴



作者は、5 年前、インテリアデザインに興味を持ち、本学に入学しました。建築コースに進み、1 年前、左の卒業設計を仕上げました。そして、日本建築家協会主催の「全国学生卒業設計コンクール」2015 にて、審査員特別賞 (佐々木睦郎賞・全国トップ7 作品のひとつ) に輝きました。

この作品には、カリキュラムの特徴がとてもよく表れています。「建築×まちづくり×ランドスケープ×インテリア×古い建物の保存」の、これらすべての要素が融合しています。現在、海外留学を目指し、ロンドンで語学留学中です。一級建築士を取って、いつの日か、自分の設計事務所を開設する夢を持ち、日々励んでいます。

学生たちが様々な賞に恵まれるのは、まず徹底的にデザインに比重を置いているからです。エキサイティングな演習により、建築・環境における美しいデザイン、斬新なデザイン、伝統的なデザインを学びます。全学科共通の「基礎造形実習」を土台とし、手描きの製図、CAD の製図を修得し、設計演習に応用します。1 年次が終わる頃には、プロも驚くような設計表現を身につけます。1 年次の後期から 2 年次の後期まで、全員が、建築・インテ

リア・都市計画・ランドスケープ・文化財建造物の具体的な設計課題を経験します。その結果、いろいろな環境空間を、自分たちで考えていけるようになり、プレゼンテーションも上手になり、自信がきます。3 年次からは、「建築・インテリアコース」と「環境計画・保存コース」に分かれ、よりレベルアップした分析力、設計力、論考力を身につけます。どちらのコースに進んでも、所定の単位を取れば一級建築士受験資格が得られます。

佐藤 圭真 Keima Sato
大学院造形研究科 修士課程 2 年
出身学校：加茂高等学校 (新潟県)



山口 杏奈 Anna Yamaguchi
建築・環境デザイン学科 2 年
出身学校：見附高等学校 (新潟県)

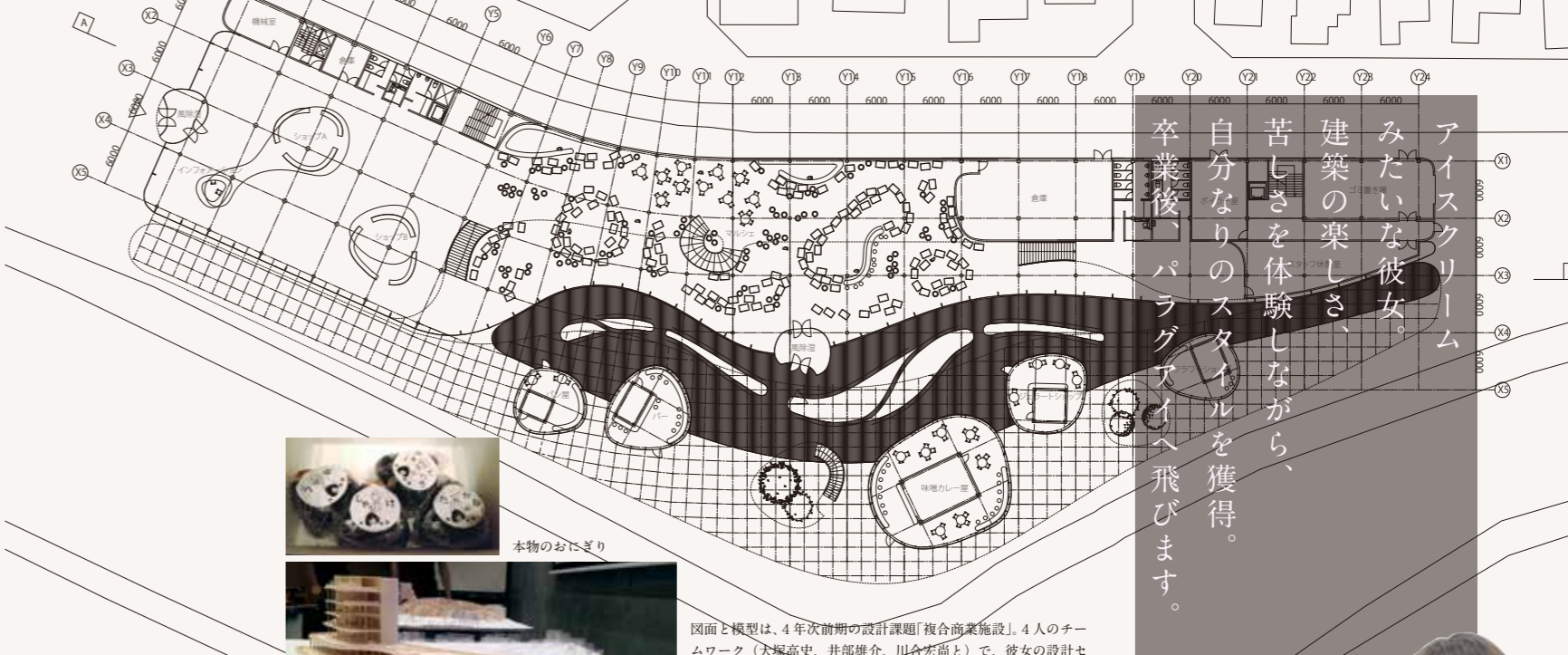
この「住宅」は、1 年次の建築・環境デザイン演習 I で設計したものです。日本建築家協会主催の北関東甲信越「学生課題設計コンクール」2016 にて、銀賞 (第 2 席) に輝きました。他大学の参加作品が 2 年生や 3 年生のものであったので、1 年次作品の受賞は、本当に画期的なことでした。



遠藤 瞳 Hitomi Endo
建築・環境デザイン学科 2 年
出身学校：科学技術高等学校 (静岡県)

この「住宅」も、1 年次の建築・環境デザイン演習 I で設計したものです。上記コンクールにて、山口杏奈に続く銅賞 (第 3 席) に加え、審査委員長の北山恒貴まで授かりました。北山恒氏 (写真左) は、横浜国立大学の教授を務められ、著名な建築家です。後日、東京で本学の江尻憲泰教授 (構造設計) に、二人の快挙をお話しされたそうです。

アイスクリーム
みだいな彼女。
建築の楽しさ、
苦しさを体験しながら、
自分なりのスタイルを獲得。
卒業後、パラグライダーへ飛びます。



図面と模型は、4年次前期の設計課題「複合商業施設」。4人のチームワーク（大塚高史、井部雄介、川合宏高と）で、彼女の設計センスが如何なく発揮されました。デザインの中心となり、おにぎり形や曲線をふんだんに用いて、平面計画と家具のレイアウトがなされました。チーム名も「おにぎり大感謝祭」でチーム一丸となったプレゼン（右下の名刺と本物のおにぎり）も見事でした。



本物のおにぎり



廣川 遥捺
Haruna Hirokawa
建築・環境デザイン学科2016年卒業
出身学校：新潟第一高等学校（新潟県）

建築を選んだのは「子どもの頃から家を見るのが好き」というシンプルな理由。図面を描くのも初めてでしたが、演習を重ねる中でデザインセンスの高さが評価され、実力を高めていきます。挫折もありました。でも精神的・肉体的にハードな4年を乗り切りました。そして卒業後、彼を追って南米パラグアイに飛びます。やわらかな印象からは想像もつかない決断。彼女を強くしたNIDでの4年間を振り返ります。

建築に触れたのは入学後。演習を通し、空間デザインの魅力を知る

高校卒業後の進路はなかなか決まらなかったという廣川さん。ご両親と相談する中で、小さい頃から友だちの家を見るのが好きだったこと、住宅に興味があることに気づき、NIDへの進学を決めました。

建築は全くの未経験。1年次前期の手描きの製図を手始めに、後期からの「設計演習」で一つひとつ学んでいきました。最初の課題は「2人部屋」。学生が2人でシェアする部屋を設計します。

「学生たちが描いた図面がスクリーンに映しだされるのですが、私のはサイズ感ゼロ。テレビが4mもあったんです。何だこりゃ...という感じ。でも実際にやってみて、空間デザインの面白さを知りました」

1年次の設計演習では、毎回順位づけが行われます。廣川さんの「2人部屋」は8位。「1位は高校から建築を学んできた人で、知識も技術も豊富。考えたものを形にするために、私もちゃんと学ばなきゃと思いました」

曲線表現に現れた自分らしさ。「生まれて初めて本気になれた」

廣川さんは次第に頭角を現し、4位、3位と順位を上げていきました。担当の山下先生は「4位になったフォロリー（東屋）の設計が鮮烈」と振り返ります。「ガラスを使った3次元曲面の屋根がとても美しく、今もよく覚えています。しかし一方で「彼女は華奢。太陽の下に置いたら溶けてしまうアイスクリームのよう。体力や気力が必要な建築を続けられるだろうか」と思ったそうです。

そんな心配をよそに、廣川さんは躍進を続けます。2年次前期のランドスケープ演習では見事1位に。「パソコンを使わず手でパースを描き、プレゼンテーションパネルをつくり、模型を制作しました。提出期限が近づくと徹夜、徹夜...。生まれて初めてひとつのことに本気で取り組みました。そしてちゃんと評価してもらったのも初めて。嬉しかったですね」

「建築は楽しい」と思った廣川さんは、迷うことなく「建築・インテリアコース」に進み、新たな課題に取り組みます。しかし大きな壁が。「これまでと違いリアルな表現が求められ、構造や設備など専門的な知識が必要でした」

この時期は他の学生にとっても辛い時期。構造設計を楽にするために、シンプルな建物にしてしまうと、先生は「もつとユニークなものに」と受け付けません。しかし、ユニークな建物を設計するにはそれなりの技術が必要。「最大の難関ですね。へこたれて、演習に出なくなる学生が増えます」と山下先生。

専門の壁を実感し、挫折を経験。それでも立ち上がり、前へ進む



3年次前期「ポートフォリオ」の課題でトップとなり、感激して涙×涙×涙ことあるごとに、シクシク泣きました。



この1年次後期の課題設計「フォロリー」が鮮烈だった。デザインもさることながら、構造的にも面白かった。



ダメ出しされて泣きながらやり直した、この3年次前期の課題設計「エコ・ヴィレッジ」は、先生方に大絶賛された。リング建築の手法は、この時に見出したもので、卒業設計（次ページに掲載）ではさらに進化させることができた。

最後の大事な「卒業研究」を完遂！ 晴れやかな笑顔でパラグアイを語る

動物愛護をテーマにした卒業研究「愛されるべき命たち」。北海道の雄大な景色を背景にした、犬や猫、殺処分ゼロを目指す施設です。内側に向かって回転していく滑らかな曲線に、廣川さんらしさが現れています。デザイン面で高く評価され、2位を獲得しました。「どこに何をつくる」という、場所の設定や用途を決めるのは初めてで、大変でした。さらに設計し、1畳分の模型とCGの制作：全て一人。長丁場の作業だから、体力的にも精神的にもきつかったです。でもやり遂げました。大学の4年間で打たれ強くなったと思います」

そんな廣川さんは卒業後、南米パラグアイへ飛びます。同じ研究室の先輩でパートナーの彼が1年前に移住し、地域おこしに奮闘しているから。

「長岡市と同じ広さの森林を開発し、観光地にして人を集めようという計画です。私もお手伝いをしながら、できることを見つけたと思っています」

人生の大きな決断。廣川さんとはご両親の了解を得て、日本の裏側、移動に35時間かかる国での暮らしを決めたのです。「驚きました。あんなに華奢な彼女が、こんなにたくましく成長してくれるとは。アイスクリームは溶けなかつたですね(笑)」と山下先生。

卒業を前に、清々しい表情でインタビューに答えてくれた廣川さん。そしてその様子を見守りながら、改めて成長を喜び、祝福する山下先生。「人は必ず成長できる」。NIDでの学びは学生をたくましく育て、可能性を広げると実感しました。

それでも廣川さんは、3年次のひとつ目の課題「キッズミュージアム」で1位を取ります。しかし、次の「エコ・ヴィレッジ」で、山下先生は「サイね、これ？」と厳しく言い放ち、他の学生たちの前で作品を突き返します。ショックで泣き出す廣川さん。「これでいつか...と、中途半端な気持ちで提出した作品でした。悔しかったけど、納得している自分がいました」

それから1週間。廣川さんは気持ちを切り替え、自分と向き合いました。そして再提出。山下先生は絶賛します。「彼女の描く曲線はチャーミング。内側に回転していくんですよ。この作品には、廣川さんの設計スタイルの原型であるリングが現れていました。才能ですね。後の卒業制作にも活かされました」

地球の真反対、南米パラグアイに渡航した山下研究室先輩の立川巧雪と入澤佑哉



山下研究室の黒軍団とも、お別れの時。

卒業研究 作品



模型写真：伝統的町並みと補完関係にある新しい建築群には、ウチの空間が取り込まれている。

川合 宏尚 Hiroataka Kawai

人から人へ受け継がれるべき町並みへ

～燕市吉田地域における、地元素材を生かした産業プログラムによる持続的なまちのこし

私は古い町並みを歩くのが好きでした。伝統の街を受け継いでいく為の持続性のある街並みとは、どういうことなのか研究してみたいと思いました。本研究では街の核となる味噌醸造施設と、空き家を味噌事業の一部としての利用活用から構成されます。まちの観光価値を高めることと、プログラムが一緒になることで唯一の場所になり、人々が訪れるまちのこしを計画したものです。

- ・卒業研究優秀賞（設計部門第3席）
- ・日本建築家協会新潟地域会主催 新潟県内大学卒業設計コンクール2016 銅賞（第3席）
- ・新潟建築卒業設計展 Session! 2016 清水微賞



コンクール審査でのプレゼン ゲスト審査員である柳澤潤氏（関東学院大学教授）にアピール「街全体を含めた提案が良い」と好評価だった。



コンクール審査でのプレゼン 「質疑応答が完璧だった」と指導教員の山下秀之教授にほめられた。6月の全国大会が楽しみ。



模型写真：ユニークな人工地盤は、津波の破壊力に耐える6つのオワン形状が連結したものです。

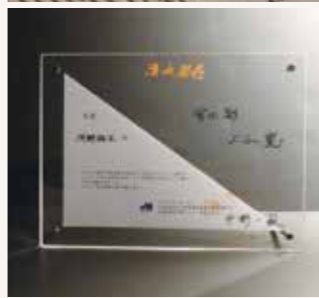
河野 裕太 Yuta Kono

浦に幸わう海神の湊

～東日本大震災から5年、福島県沿岸「松川浦」に描く福幸の湊

福島の海際の前線に、前向きな光を灯す湊まちを提案しました。復興の前線では、災害に立ち向かう人たちの輝かしさを見てきました。その輝かしさが寄り集まって、行く先を照らすわずかな明かりを海際に灯したい。建築と土木の技術を結集して、津波という災害に持ちこたえるこの湊まちは、国内外から研究者や活動家などを招き入れ、係留地点としての役割を持つものです。

- ・卒業研究優秀賞（設計部門第1席）
- ・日本建築家協会新潟地域会主催 新潟県内大学卒業設計コンクール2016 金賞（第1席、全国大会に出場）
- ・新潟建築卒業設計展 Session! 2016 橋本健史賞



クールなアクリルの賞状



模型で木棒が空中に浮かぶ不思議な構造。

横山 翔大 Shota Yokoyama

テンセグリティ構造の基礎研究と仮設建築への応用 テンセグリティは少ない部材数で空間を構成することができるため、仮設建築への応用が可能であると考えました。本研究では、実際に単純なテンセグリティ構造を作成し、それらを多方面から計算や解析を行い、どのように構造体を強く制作することができるかを研究することを目的としています。

- ・卒業研究優秀賞（論文部門第2席）

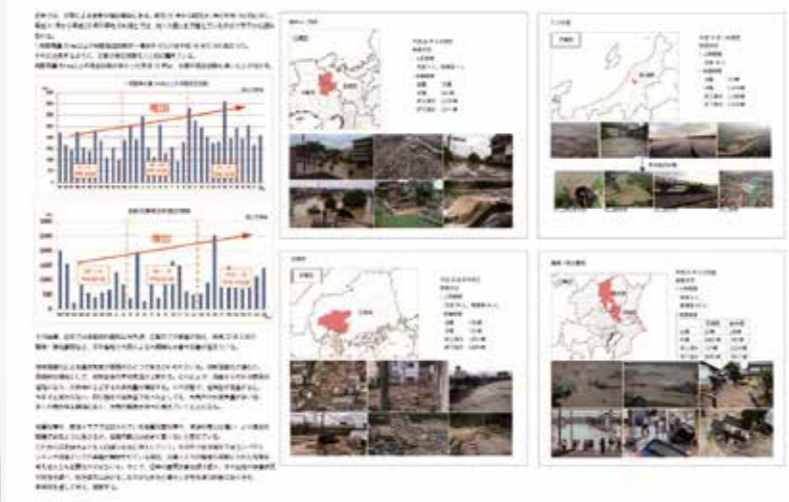


加藤 静香 Shizuka Kato

人口減少社会における水害リスクの分散を図る土地利用及び減災対策のあり方に関する研究

近年、ゲリラ豪雨の発生などによって全国各地で水害による甚大な被害が発生しています。被害が大きくなるのは、過度な土地開発によって、脆弱性の高い場所へと居住地が展開していることも要因です。人口減少社会を迎えた日本では、土地の成り立ちを踏まえることで自然災害にも強い暮らし方を再構築できる可能性があります。それを実態調査や農耕地を活用した災害軽減策の経済効果の算定などを通じて明らかにしました。

- ・卒業研究優秀賞（論文部門第1席）

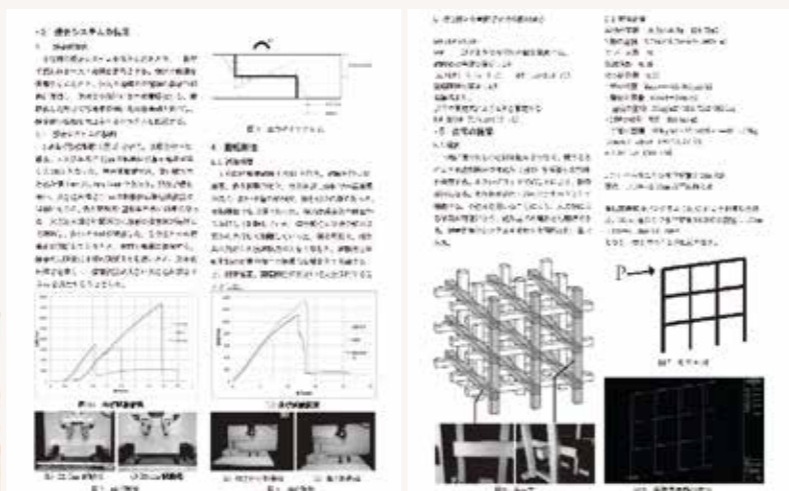


横山 諒 Ryo Yokoyama

接着剤嵌合システムの研究

接着剤を用いることにより、ボルトやビスを使用しない、複雑な継手形状を簡易化することが可能です。今まで使われていなかった小径木の利用ができ、エコロジカルな面での効果も期待できます。組み立ての簡易化も期待でき、人が立ち入ることができないであろう、災害現場での活躍も期待できます。

- ・2016年日本建築士上学会 学生研究奨励賞



模型写真：各階で微妙にずれるイビツで複雑なリング状の建築。

廣川 遥捺 Haruna Hirokawa

愛されるべき、いのちたちへ

～北海道札幌市の採石場跡地に、ヒューマン・アニマル・ボンドに基づく、人と動物との共生の楽園を

近年の日本は、3世帯に1世帯がペットを飼う、ペット大国です。しかしその裏側では、年間30万匹もの犬や猫が、保健所で殺処分されています。本研究は、こうした日本の動物の殺処分問題に基づき、動物保護施設のこれからのあり方を提案したものです。人と動物との共生の楽園を目指します。ここで待つのは、悲しい最期ではなく、新たな家族です。

- ・卒業研究優秀賞（設計部門第2席）
- ・日本建築家協会新潟地域会主催 新潟県内大学卒業設計コンクール2016 銀賞（第2席）



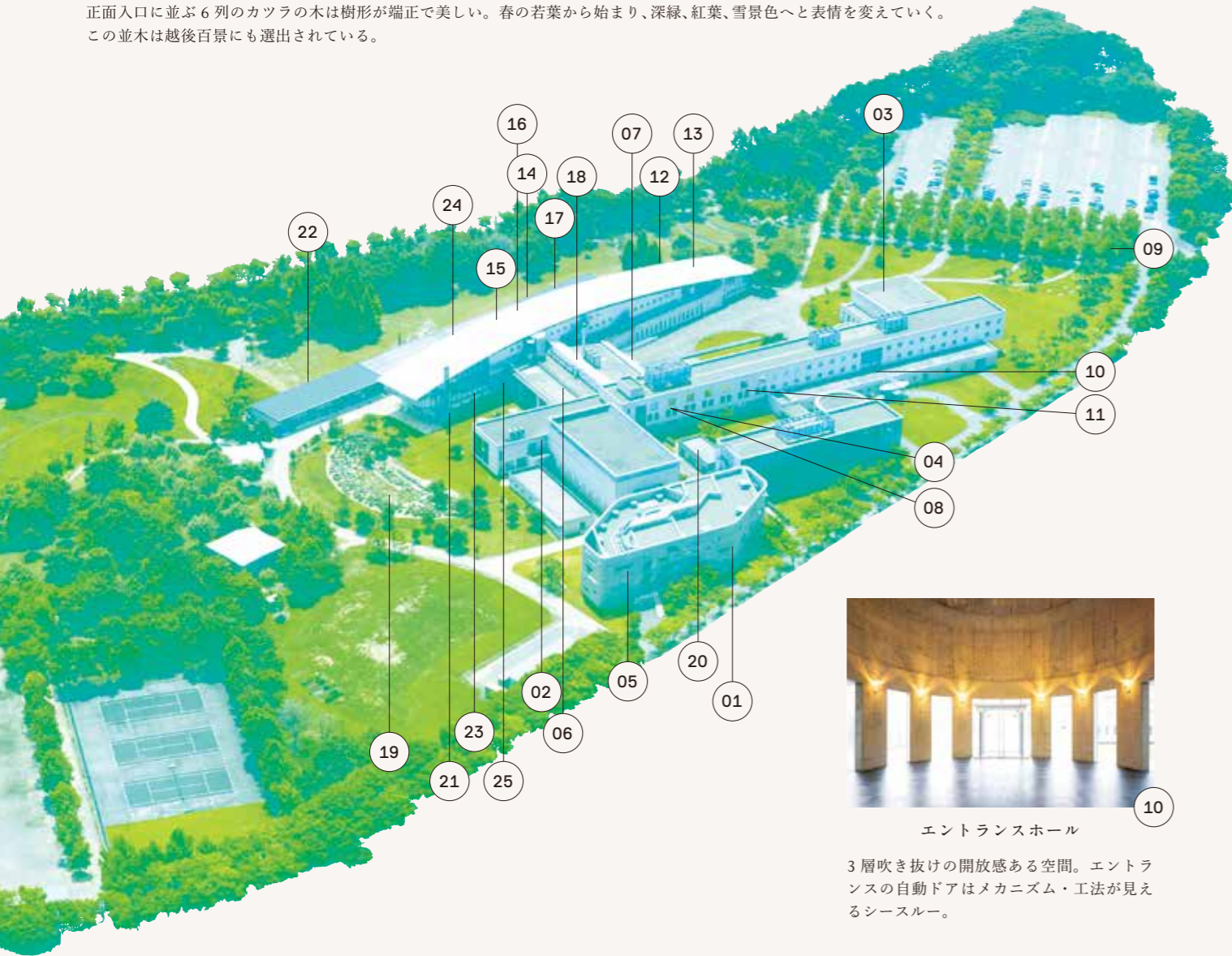
コンクール審査でのプレゼン 同じ山下研究室の河野裕太と同点トップで一騎打ちとなり、最終投票で敗れたが、審査員の口々からは「デザインが秀逸」という称賛が相次いだ。



09

カツラ並木

正面入口に並ぶ6列のカツラの木は樹形が端正で美しい。春の若葉から始まり、深緑、紅葉、雪景色へと表情を変えていく。この並木は越後百景にも選出されている。



10

エントランスホール

3層吹き抜けの開放感ある空間。エントランスの自動ドアはメカニズム・工法が見えるシースルー。



13

建築・環境デザインアトリエ

建築・環境デザイン学科の学生の制作スペース。アトリエ中央の木造螺旋階段は支柱がない構造で、本学卒業生が設計。



12

捺染工房

布に型版を用いて色糊（糊に染料を加えたもの）で連続模様を染めつける専用の工房。幅1.3m×長さ9mの捺染台2基を完備。



11

301・302 コンピュータ演習室

コンピュータ（Windows）を約80台設置。授業時間外は自由に使用できる。



05

1年生アトリエ

主に基礎造形実習で使用される1年生専用のアトリエ。授業時間以外でも利用でき、1年生同士の情報交換の場としても活用されている。



01

デッサン室

新入生はここから学びをスタートする。主に基礎造形実習で使用。天井を高くすることにより、空間に広がりを持たせ、また壁面に沿って展示用レールも配置されている。



06

ギャラリー

授業作品やサークル等の作品展示空間。普段はテーブルイス、ピアノが設置され、学生の休憩スペースとしても使用される。



02

レストラン

2層吹き抜けで、開放感あふれるセルフサービスのレストラン。庭園から東山の景観をスクリーンのように見せる全面ガラス張り壁面が、景色の美しさを一層引き立てる。



07

学生エントランス

コンクリート打ちっ放しの学舎には「4年間の大学生活で新しいものを自ら発見し、キャンパスに色彩を与えてほしい」という学生へのメッセージが込められている。



03

図書館

デザイン・アート関連図書を中心に蔵書数約73,000冊。また、AVブースも設置。



08

オーディオスタジオ

映像編集室に隣接したオーディオスタジオは、ナレーション等の録音や音楽の制作・編集を行うことができる。



04

映像編集室

コンピュータ（Mac）、アニメーションスタンド、オーディオ機器を配置し、映像作品の制作・編集や映像上映で使用する。



19

自然風景式庭園

キャンパスを取り囲む庭園は、信濃川に連なる美しい景色を活かしながら周辺施設との調和に配慮。18世紀のイギリスに芽生えた自然風景式庭園の技法を基調に、環境デザインの教材となる素材や技法が豊富に取り込まれている。



18

渡り廊下

円窓や天井のスリット窓から入る自然光と間接照明等の効果により、印象的な雰囲気空間。



16

木工・多目的工房

木材・金属、プラスチックの加工を行う設備等を完備。プロダクトデザインや建築・環境デザイン関係のモデル・模型制作をする際に利用。



14

映像スタジオ A

写真・映像撮影専用のスタジオ。背景紙、スカイライト用昇降ボタン、大型照明機材、コンピュータ (Mac)、プリンタ、デジタル一眼、中判デジタルカメラ、ビデオカメラ等を完備。



17

絵画工房

学生個人にそれぞれのスペースがあり、広々とした空間で学生間のコミュニケーションも大切にしながら制作を行える。



15

402 プロダクトデザインアトリエ

ウェア、バッグ、帽子など、主にファッション関係を学ぶ学生たちの制作の場として利用されている。



24

ガラス工房

ガラス工芸に必要な宙吹き・キルンワーク・ランプワーク・コールドワーク等の機材を完備。



22

彫刻アトリエ

主に塑造と木彫を専門的に学べる設備と道具が充実。大型作品の制作にも対応できるほか、様々な表現方法に合わせ、柔軟に対応できる空間が用意されている。



20

銅版画工房

銅版画制作の専用工房。腐蝕銅版画技法製版のための腐蝕室と、特大判まで刷れる多目的版画プレス機 LXC-2E 型を設置。



25

彫金工房

彫金やジュエリー制作を行うための作業環境と幅広い機器・工具類を完備。また伝統的な鍍金を行うための金銷装置も備えている。



23

鍛金・鋳起工房

金属をたたき延ばして成形する「鍛金」の専用工房。80種類以上の当て金や、熱加工のためのガスバーナー台等を完備。



21

鑄金鑄造工房

石膏の型に溶かした金属を流し込んで形をつくる「鑄金」の専用工房。100kg可傾式熔解炉やガス窯炉、ホイストクレーン等を完備。



教員紹介

学長



和田裕
Hiromu Wada

専門分野/トランスポートデザイン 現在の研究課題/トランスポートデザイン、造形のセオリー、エスキースによる創造能力の向上
学歴等+資格/東海大学教養学部芸術学科

プロダクトデザイン学科



菊池加代子
Kayoko Kikuchi

専門分野/テキスタイルデザイン(織) 現在の研究課題/ダマスク織機を用いた作品制作、Mariano Fortuny デルフォスドレス復元研究、『長岡造形大学草木染色図鑑』作成
学歴等+資格/多摩美術大学デザイン科染織デザイン専攻織専修

プロダクトデザイン学科



齋藤和彦
Kazuhiko Saito

専門分野/インダストリアルデザイン 現在の研究課題/パーソナルトランスポートとその造形表現手法、地産地消型モビリティの研究
学歴等+資格/武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科

プロダクトデザイン学科



境野広志
Hiroshi Sakano

専門分野/プロダクトデザイン 現在の研究課題/機器操作に関する認知的研究
学歴等+資格/千葉大学大学院工学研究科修士課程(工学修士)

プロダクトデザイン学科



鈴木均治
Kuni Suzuki

専門分野/テキスタイルデザイン(模様染) 現在の研究課題/型紙捺染におけるマチエールの研究
学歴等+資格/東京造形大学造形学部デザイン学科

プロダクトデザイン学科



土田知也
Tomoya Tsuchida

専門分野/プロダクトデザイン 現在の研究課題/プロダクトデザイン全般
学歴等+資格/千葉大学大学院工学研究科修士課程(工学修士)

プロダクトデザイン学科



増田譲
Yuzuru Masuda

専門分野/プロダクトデザイン 現在の研究課題/3DCAD 3Dプリンターを活用したパーソナル・ファブ리케이션、新しい3D入力デバイスの研究
学歴等+資格/多摩美術大学デザイン科立体デザイン専攻プロダクト専修、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程在学中

プロダクトデザイン学科



金澤孝和
Takazu Kanazawa

専門分野/プロダクトデザイン(家具・生活小物) 現在の研究課題/必然から導かれるデザインの在り方について、小規模伝統的産地の活路を開くために最適な支援システムの構築
学歴等+資格/東京造形大学造形学部デザイン学科

プロダクトデザイン学科



川越ゆかり
Yukari Kawagoe

専門分野/服飾・衣装デザイン・製作 現在の研究課題/持続的コミュニケーションツールとしてのファッション、ブランディング
学歴等+資格/文化服装学院服飾専門課程服装科

視覚デザイン学科



阿部充夫
Mitsuho Abe

専門分野/写真 現在の研究課題/写真を使用した画像表現
学歴等+資格/東京写真専門学校商業写真科

視覚デザイン学科



天野誠
Makoto Amuno

専門分野/グラフィックデザイン(エディトリアルデザイン) 現在の研究課題/エディトリアルデザイン
学歴等+資格/専門学校桑沢デザイン研究所グラフィックデザイン研究科

視覚デザイン学科



長瀬公彦
Kimihiko Nagae

専門分野/グラフィックデザイン、イラストレーション 現在の研究課題/視覚表現の可能性の探究
学歴等+資格/東京藝術大学美術学部デザイン科、School of VISUAL ARTS, Fine Arts (NewYork)

視覚デザイン学科



長谷川博紀
Hiroki Hasegawa

専門分野/グラフィックデザイン、広告全般、イラストレーション 現在の研究課題/イラストレーション
学歴等+資格/東京藝術大学美術学部デザイン科

視覚デザイン学科



アンドリュウ・バンゴースム
Andrew Van Goolhem

専門分野/ TESOL - Teaching English to Speakers of Other Languages 現在の研究課題/ Fossilization: "Empty Categories" Assisting, Larry Selinker (England) Sociolinguistics and Language Teaching Observation and Discourse Analysis
学歴等+資格/ Masters Degree: TESOL, Temple University, Tokyo, Japan 1998 B.S.Degree: University of Wisconsin Stevens Point, 1983

視覚デザイン学科



ヨールグ・ビュール
Jörg Bühler

専門分野/映像、マルチメディア、アート教育 現在の研究課題/ 1 映像・動画、コンピュータ関係のアート 2 情報を伝えるためのビジュアル表現、特に地図、科学、日常のための記号学
学歴等+資格/バーゼル美術学校芸術教育専攻(スイス)、高等芸術教員免許取得

視覚デザイン学科



松本明彦
Akihiko Matsumoto

専門分野/写真 現在の研究課題/写真を用いたアート表現
学歴等+資格/武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科後期博士課程在学中

視覚デザイン学科



山本敦
Asushi Yamamoto

専門分野/グラフィックデザイン、広告全般、ブランディング 現在の研究課題/地域資源を活用したブランディングデザインの可能性の探究
学歴等+資格/専門学校桑沢デザイン研究所グラフィックデザインII科

視覚デザイン学科



池田光宏
Misuhiro Ikeda

専門分野/ビジュアルアート、コミュニケーションデザイン 現在の研究課題/パブリックスペースにおけるアートプロジェクト
学歴等+資格/東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了(美術修士)

視覚デザイン学科



真壁友
Tomo Makabe

専門分野/メディアアート、デジタルファブ리케이션 現在の研究課題/デジタル機器を活用した素材の加工及び、それを使った表現
学歴等+資格/東北学院大学大学院工学研究科応用物理学専攻(工学修士)

視覚デザイン学科



御法川哲郎
Tetsuro Minohatawa

専門分野/イラストレーション 現在の研究課題/イラストレーションによるヴィジュアルコミュニケーション
学歴等+資格/多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科

視覚デザイン学科



山田博行
Hiroyuki Yamada

専門分野/写真、映像 現在の研究課題/写真的アプローチの映像表現の探求
学歴等+資格/武蔵野美術大学造形学部映像学科

視覚デザイン学科



金聳洙
Boongsu Kim

専門分野/グラフィックデザイン、紋章・しるし文化、内発的発展論に基づく地域開発計画 現在の研究課題/伝統的なしるし文化に基底した地域の内発的発展の探究、燕地域金属洋食器の模様に対する調査分析
学歴等+資格/千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻博士課程(学術修士)

美術・工芸学科



石原宏
Hiroshi Ishihara

専門分野/西洋美術史 現在の研究課題/西洋中世美術史
学歴等+資格/早稲田大学大学院文学研究科芸術学専攻後期課程満期退学(文学修士)

視覚デザイン学科



徳久達彦
Tashiko Takahisa

専門分野/ Web デザイン 現在の研究課題/可視化、UI、UX、VR、AR、コミュニケーション
学歴等+資格/デジタルハリウッド大学大学院 デジタルコンテンツ研究科 デジタルコンテンツ専攻 修了(デジタルコンテンツマネジメント修士)



美術・工芸学科
遠藤 良太郎
Ryotaro Endo
教授
研究推進部長

専門分野/絵画 現在の研究課題/絵画空間の輪郭線とタッチ。絵画性の獲得の諸条件。藝術の役割、社会と人類について。絵画論 学歴等+資格/東京藝術大学大学院博士課程(後期) 美術研究科絵画専攻(油画) 博士(美術)



美術・工芸学科
大森 修
Yasumi Onori
教授

専門分野/言語技術教育、特別支援教育 現在の研究課題/指導技術 学歴等+資格/新潟大学教育学部



美術・工芸学科
菅野 靖
Yasushi Kanno
教授

専門分野/金属工芸(彫金) 現在の研究課題/金属と仲良くなること 学歴等+資格/東京藝術大学大学院美術研究科彫金専攻修士課程(芸術学修士)



美術・工芸学科
馬場 省吾
Shogo Baba
教授
学部長

専門分野/金属工芸(鍍金造形) 現在の研究課題/鍍金・鋳起技法による素材と造形、表現の展開及び応用 学歴等+資格/東京藝術大学大学院美術研究科鍍金専攻修士課程(芸術学修士)



美術・工芸学科
結城 和廣
Kazuhito Yuki
教授

専門分野/美術科教育、総合学習 現在の研究課題/「発想・構想・表現・鑑賞における指導過程の類型化」、「教材開発の視点」、「児童画を読み解く鑑賞法」 学歴等+資格/弘前大学教育学部、小学校教諭一種免許、中学校教諭美術一種免許、高等学校教諭美術一種免許



美術・工芸学科
岡谷 敦魚
Asutaro Okamoto
准教授
副研究科長

専門分野/版画(銅版、リトグラフ、木版) 現在の研究課題/現代版画の可能性の探究 学歴等+資格/武蔵野美術大学造形学部油絵学科版画コース銅版画専攻、東京藝術大学大学院美術研究科芸術学美術教育専攻



美術・工芸学科
小林 花子
Hanako Kobayashi
准教授

専門分野/彫刻 現在の研究課題/木を基本素材とした立体表現の探究、美術の社会へのかかわりと可能性の探究 学歴等+資格/愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了



美術・工芸学科
手銭 吾郎
Goro Tezumi
准教授

専門分野/金属工芸(鍍金) 現在の研究課題/金属工芸における鍍金技法及び鏡紋り技法による造形表現の探求と技術の研究 学歴等+資格/東京藝術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻(鍍金)修了



美術・工芸学科
中村 和宏
Kanahito Nakamura
准教授

専門分野/ガラス工芸 現在の研究課題/サステナブル(=持続可能)な社会における、ガラス工芸素材による、造形からの展開と可能性の探究 学歴等+資格/財団法人金沢卯辰山工芸工房 工房技術研修員



美術・工芸学科
長谷川 克義
Kauroshi Hasegawa
准教授
美術・工芸学科長

専門分野/金属工芸(鍍金) 現在の研究課題/鍍金技法による器造形の探究及び古代鍍造技術の研究 学歴等+資格/東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻(鍍金) 修士課程(美術修士)

建築・環境デザイン学科



建築・環境デザイン学科
上野 裕治
Yoji Ueno
教授

専門分野/ランドスケープデザイン、生物棲息環境 現在の研究課題/農村景観保全計画、物語性のあるランドスケープデザイン 学歴等+資格/東京農業大学大学院農学研究科環境共生学専攻修了、博士(環境共生学)、技術士(建設部門)、登録ランドスケープアーキテクト、樹木医



建築・環境デザイン学科
江尻 憲泰
Naohiro Ejiri
教授

専門分野/建築構造 現在の研究課題/新素材の建築構造への応用、制震等 学歴等+資格/千葉大学大学院工学研究科(工学修士)、一級建築士、構造一級建築士、JSCA 構造士



建築・環境デザイン学科
川口 としほ
Toshiho Kawaguchi
教授

専門分野/建築・インテリア・プロダクトのデザイン 現在の研究課題/建築再生、グローバル・リージョナルな建築のあり方 学歴等+資格/日本大学大学院理工学研究科建築学専攻博士前期課程、一級建築士、管理建築士 http://arckacom.houzz.jp http://arcka.com



建築・環境デザイン学科
後藤 哲男
Teisuo Goto
教授

専門分野/建築・都市設計 現在の研究課題/本構造における空間の設計方法に関する研究と実践、パリ都市建設における空間の設計方法に関する研究 学歴等+資格/東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、フランス政府公認建築家(Architecte D.P.L.G.)、一級建築士



建築・環境デザイン学科
菅原 浩
Hiroshi Sugihara
教授

専門分野/表象文化論、比較文化論、外国語教育 現在の研究課題/想像力を起点とした「意識構造+世界構造」の探究 学歴等+資格/東京大学大学院総合文化研究科比較文学・比較文化専攻博士課程(学術修士)

建築・環境デザイン学科



建築・環境デザイン学科
平山 育男
Ito Hiroyama
教授

専門分野/建築史、民家史、社寺建築、水道史、文化財の保存・修復 現在の研究課題/建築物はどのようにして建てられてきたのか 学歴等+資格/早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻博士課程、博士(工学)、博士(造形)

建築・環境デザイン学科



建築・環境デザイン学科
森 望
Naotaka Mori
教授

専門分野/ディスプレイデザイン 現在の研究課題/展示デザインの基礎データに関する研究 学歴等+資格/多摩美術大学美術学部建築科、一級建築士

建築・環境デザイン学科



建築・環境デザイン学科
山下 秀之
Hiroyuki Yamashita
教授
建築・環境デザイン学科長

専門分野/建築意匠・建築設計 現在の研究課題/自然のグローバルシステムに呼応する建築のヴィジョンを、独創的なモデルによって提示すること 学歴等+資格/東京工業大学大学院理工学研究科修了、一級建築士 http://www.ae-lab.com/

建築・環境デザイン学科



建築・環境デザイン学科
渡辺 誠介
Susuke Yamane
教授
研究科長

専門分野/都市計画、観光まちづくり 現在の研究課題/JR 東日本がきっかけになった長岡市根田地区まちづくり、長期未着手都市計画道路に関する研究、市街化調整区域内での農村景観に関する研究、空き家の活用方法に関する研究 学歴等+資格/東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程(工学博士)

建築・環境デザイン学科



建築・環境デザイン学科
澤田 雅浩
Masahito Sawada
准教授
地方創生推進プロジェクト チームリーダー

専門分野/都市計画、地区防災 現在の研究課題/流動性と多様性に着目した地域計画策定手法 学歴等+資格/慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程、博士(政策・メディア)

建築・環境デザイン学科



建築・環境デザイン学科
白鳥 洋子
Yoko Shimizu
准教授

専門分野/建築史、建築設計 現在の研究課題/建築と都市、再生改修 学歴等+資格/東京大学大学院工学研究科博士課程修了(工学博士)、パリ第一大学 DEA 課程、エコール・ダルシテクチュール DPLG 課程、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了、フランス政府公認建築家、一級建築士

建築・環境デザイン学科



建築・環境デザイン学科
津村 泰範
Yasunori Tsunura
准教授

専門分野/建造物保存再生(調査・計画・設計) 現在の研究課題/保存修復再生技術、建築の保存継承手法・制度・理念、近現代建築生産技術史、文化財や歴史的建造物を活かしたまちづくり 学歴等+資格/東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程

名誉教授

- 上山 良子
- 鎌田 豊成
- 川崎 晃義
- 熊井 恭子
- 洪 起
- 小林 誠
- 豊口 協
- 平井 邦彦
- 宮澤 智士

客員教授

- 伊藤 滋
- 渡邊 定夫
- 大林 宣彦
- 隈 研吾

非常勤講師

- 相澤 千晶
- 相庭 和彦
- 赤塚 祐二
- 秋本 貴透
- 浅井 勝利
- 浅賀 武一
- 阿部 宏史
- 阿部 葉子
- 阿部 美穂子
- 天野 美穂子
- 安斎 利洋
- 安藤 栄夫
- 飯島 康夫
- 飯野 秋成
- 飯野 由香利
- 石川 幹子
- 石川 竜太
- 石渡 雅史
- 磯部 浩巳
- 市野 敬介
- 市野 光敏
- 伊藤 彰剛
- 伊藤 敦美
- 伊藤 哲
- 伊藤 拓次郎
- 井上 剛
- 井波 純
- 岩崎 靖彦
- 岩崎 保之
- 岩富 由香
- 上野 和広
- 上原 正孝

- 内堀 豪
- 内山 智之
- 宇波 拓
- 梅嶋 修
- ポール・エドワーズ
- 扇原 康成
- 大倉 宏
- 太田 岳
- 大滝 聡
- 大塚 いちお
- 大塚 隆子
- 大塚 麻利子
- 大塚 隆介
- 大西 隆介
- 大野 一生
- 大淵 政明
- 大室 桃生
- 岡本 明子
- 小川 峰夫
- 小川 武彦
- 小藤 博史
- 小田 薫
- 尾田 雅文
- 笠原 出
- 鹿島 和生
- 柏田 良彰
- 金石 浩一
- 金出 ミチル
- 可兒 雅幸
- 金光 弘志
- 鹿野 正樹
- 上村 靖司
- 川上 敦夫

- 川上 典李子
- 川崎 栄治
- 氣賀 澤雅人
- 北村 真行
- 木原 隆明
- 木伏 あづさ
- 木村 繁之
- 木村 博之
- 楠八重有紗
- 久保 光徳
- 黒川 廣子
- 五島 一浩
- 後藤 尚樹
- 小林 晃一
- 小山 壽久
- 西願 公登
- 齋藤 博
- 齋藤 成彦
- 迫 一成
- 佐治 真理子
- 薩摩 雅登
- 佐藤 淳哉
- 佐藤 誠二
- 佐藤 千香子
- 佐藤 透
- さとうりさ
- 塩谷 亮
- 嶋田 浩
- 嶋崎 達哉
- 清水 和也

- シミズタニヤスノブ
- 下山 直紀
- 修田 潤悟
- 東海林 弘靖
- 新村 哲二郎
- 吹田 哲二郎
- 鈴木 聖二
- 鈴木 誠治
- 鈴木 春菜
- 平繁 雄
- 大塚 和正
- 高石 次郎
- 高田 清之介
- たかだ みつみ
- 高橋 信行
- 武内 正和
- 竹原 あき子
- 橘智哉
- 田中 啓一
- 田中 聡
- 田中 洋史
- 谷山 恭子
- 田村 芳夫
- 辻 和美
- 水瀧 潤太郎
- 寺内 文雄
- 寺島 正二郎
- 富永 禎秀
- 富永 禎次
- フラインセスドライヤー
- 中出 文平
- 長澤 信夫
- 中嶋 明希

- 中島 崇
- 中嶋 敏夫
- 中西 清吾
- 中平 勝子
- 中村 恵子
- 中山 俊介
- 中山 泰民
- 西田 泰一
- 羽村 伸也
- 橋本 真一
- 長谷川 隆之
- 早園 真己
- 原子 力
- HARUKI
- 春田 幸彦
- アラン・バーデン
- 平賀 仁
- 広井 造
- 古屋 貴広
- 星 恵三
- 星野 徹
- 堀井 勇太
- 横田 純
- 横田 延寿
- 吉田 道夫
- 留守 玲
- 松浦 康次
- 松本 有
- 松本 祐一
- 真野 元成
- 丸山 晶崇
- 万年 麻美

- ミーヨン
- 溝川 誠司
- 三田村 光土里
- 三井 直樹
- 南加乃子
- 三村 宣治
- 崎 貴重
- 宮崎 直幸
- 村山 直幸
- ビル・エヴァンズ・ロムリス
- 室田 健一郎
- 本吉 弘徳
- 森崎 靖徳
- 森田 力
- 森田 守
- 矢尾 板和宣
- 山田 興生
- 山田 智恵
- 山本 貴光
- 山本 哲也
- 山本 正記
- 山本 裕子
- 横田 和典
- 横田 秀珠
- 横田 延寿
- 若子 玲
- ランスレイイサム
- 若子 玲
- 浦田 和芳
- 和田 正泰
- 渡邊 信治

長岡造形大学大学院造形研究科では、修士課程に環境文化財学、建築学、空間計画学、視覚デザイン、美術・工芸、プロダクトデザイン等の6研究領域を、博士（後期）課程に造形理論の1研究領域を設けています。

それぞれの研究領域におけるデザイン理論の深化と、総合的なデザイン技法の高度化を目指すとともに、デザインの各領域の融合を図りながら、広い視野でデザイン領域全体をコーディネートする能力の修得を目指します。



修士課程

環境文化財学
建造物、遺跡、集落・町並みなどの環境文化財に関して、保存修復・修景の実際的方法論とその応用について探究します。

空間計画学

広域圏から地区にいたる様々な空間スケールを対象として、都市計画、地域計画、防災計画、ランドスケープ計画に関する論理的・実践的方法論について探究します。

美術・工芸

金属・繊維・ガラスなどを主材料とする工芸領域及び、絵画・彫刻を中心とする美術領域の素材、造形手法、創作表現の可能性について実践的に探究します。

博士（後期）課程

造形理論

環境文化財学、建築学、空間計画学、視覚デザイン、美術・工芸、プロダクトデザインなど、それぞれの専門分野を切り口として、人間を中心軸においた造形理論を構築することを目指します。

建築学

建築計画の方法論を研究し、建築の持つ社会性や芸術性を踏まえて、建築空間の設計とその実践的なプロセスを探究します。

視覚デザイン

多様な情報メディアにおける視覚伝達の技術を学ぶとともに、人間社会における視覚コミュニケーションの本質を探究します。

プロダクトデザイン

人間の生活に関わる道具としてのプロダクト製品の企画開発から使用、廃棄までの全プロセスを踏まえて、デザインの側面からの論理的・実践的方法論について探究します。

修士課程教員名

教員名	研究領域
※平山育男 津村泰範	環境文化財学
※江尻憲泰 ※川口とし子 ※後藤哲男 ※森望 ※山下秀之 白鳥洋子	建築学
※上野裕治 ※菅原浩 ※渡辺誠介 ※澤田雅浩	空間計画学
※阿部充夫 ※天野誠 ※長瀬公彦 ※長谷川博紀 ※ヨールケビュラ ※松本明彦 ※山本敦 ※池田光宏 ※吉川賢一郎 徳久達彦 ※真壁友 御法川哲郎 ※山田博行 ※金峯洙	視覚デザイン
※石原宏 ※遠藤良太郎 ※菅野靖 ※菊池加代子 ※鈴木均治 ※馬場省吾 ※岡谷敦魚 ※小林花子 ※手銭吾郎 ※中村和宏 ※長谷川克義	美術・工芸
※齋藤和彦 ※境野広志 ※土田知也 ※増田譲 ※和田裕 ※金澤孝和 川越ゆかり	プロダクトデザイン

※研究指導教員

博士（後期）課程教員名

教員名	指導研究領域	研究領域
天野誠 長谷川博紀 長谷川克義	環境文化財学 視覚デザイン	造形理論
※上野裕治 ※馬場省吾 真壁友	建築学 美術・工芸	
※遠藤良太郎 ※平山育男	空間計画学 プロダクトデザイン	
※後藤哲男 松本明彦		
鈴木均治 ※渡辺誠介		
長瀬公彦 ※澤田雅浩		

※研究指導教員

授業科目

修士課程

基礎科目群	専門科目群	インターンシップ科目 (自由選択科目)
デザイン特論 2単位	環境文化財学特論A 2単位	インターンシップI 4単位
デザイン文化論 2単位	環境文化財学特論B 2単位	インターンシップII 4単位
インターフェイス論 2単位	建築学特論A 2単位	インターンシップIII 4単位
環境計画特論 2単位	建築学特論B 2単位	インターンシップIV 4単位
人間行動学特論 2単位	建築学特論C 2単位	インターンシップV 6単位
造形材料学特論 2単位	空間計画学特論A 2単位	
環境情報学特論 2単位	空間計画学特論B 2単位	
環境文化財学特論A 2単位	視覚デザイン特論 2単位	
環境文化財学特論B 2単位	美術・工芸特論A 2単位	
建築学特論A 2単位	美術・工芸特論B 2単位	
建築学特論B 2単位	プロダクトデザイン特論 2単位	
建築学特論C 2単位	プロダクトデザイン特論A 2単位	
空間計画学特論A 2単位	プロダクトデザイン特論B 2単位	
空間計画学特論B 2単位	環境文化財学特別演習 4単位	
視覚デザイン特論 2単位	建築学特別演習A 4単位	
美術・工芸特論A 2単位	建築学特別演習B 4単位	
美術・工芸特論B 2単位	空間計画学特別演習 4単位	
プロダクトデザイン特論 2単位	視覚デザイン特別演習I 4単位	
プロダクトデザイン特別演習I 4単位	美術・工芸特別演習I 4単位	
プロダクトデザイン特別演習II 4単位	美術・工芸特別演習II 4単位	
特別プロジェクト演習 12単位	プロダクトデザイン特別演習I 4単位	
特別研究 2単位	プロダクトデザイン特別演習II 4単位	

博士（後期）課程

造形理論研究指導

8単位

就職サポート

NIDで身につけたデザインマインドやスキルは幅広い分野・職種において活かすことができ、就職先は実に多様です。キャリアデザインセンターの専任スタッフが学生一人ひとりとじっくり向き合い、教員と連携しながら希望の就職が叶うよう全力でサポートします。

キャリア教育関連科目を必修科目として実施
将来についての目標や実現のための方法を考えるキャリア教育関連科目を1年次から必修科目として実施しています。

就職対策講座の実施
就職活動に必要なスキルやマナーを身につけるための講座を企画・運営しています。ポートフォリオ（作品集）作成講座など専門性に特化した講座も開講しています。

模擬面接などの選考試験対策
専任スタッフが模擬面接、履歴書の添削などの選考試験対策にも納得いくまで徹底対応します。

企業情報の提供

8千社以上の企業情報データベースを持ち、様々な企業パンフレット等の資料を公開しています。

企業への求人依頼

毎年約4千社に対し、求人票を発送し求人依頼を行っています。ほかにも年間を通して専任スタッフが企業を訪問し、企業情報や求人情報を蓄積しています。

求人情報の提供

求人票はインターネット上でどこからでもアクセス可。自分の条件に合った求人票を検索・閲覧できます。



専任スタッフによる求人情報紹介

スタッフから最新の求人情報を学生用ポータルサイト「バレット」を通じて連絡しています。

業界研究セミナー・学内企業説明会の開催

企業の採用担当者やデザイナーを招き、学内での業界研究セミナーや企業説明会を開催。企業との出会いの場を提供しています。

インターンシップ

プログラムの企画・実施
デザイン事務所、企業のデザインセクションなどで就業体験できるインターンシッププログラムを企画・実施しています。

個別面談の実施

専任スタッフが3年生全員を対象に個別面談を行っています。その後も、一人ひとり異なる希望や状況を確認しながら、それぞれが納得できる就職が叶うよう全力でサポートします。

進路相談

専任スタッフが就職活動や進路に関する質問・相談を随時受け付けています。

ハローワーク等との連携

求人紹介や就職相談など、より多くのサービスを提供できるように、ハローワーク、ジョブカフェなどの学外機関とも連携しています。

就職内定報告書・ポートフォリオの公開

先輩の就職活動の記録である就職内定報告書や就職活動に使用したポートフォリオ（作品集）をセンター内で公開しています。

卒業生情報の提供

卒業生の就職実績や活躍を、大学ホームページ特設サイトやNID独自の就職活動用ポータルサイトで紹介しています。



主な企業実習先

(指定校)

- ・いすゞ自動車
- ・カシオ計算機
- ・キヤノン
- ・ケイテック
- ・GKダイナミックス
- ・シャープ
- ・スズキ
- ・セイコーエプソン
- ・ダイハツ工業
- ・デンソー
- ・東芝
- ・トヨタ自動車
- ・豊田自動織機
- ・トヨタ車体
- ・ニコン
- ・日産自動車
- ・ノリタケカンパニーリミテド
- ・パイオニア
- ・パナソニック
- ・林テレンプ
- ・日野自動車
- ・富士重工
- ・富士ゼロックス
- ・富士通
- ・富士フイルム
- ・プラザー工業
- ・本田技術研究所
- ・マツダ
- ・三菱自動車工業
- ・ヤマハ発動機

インターンシップ

(2015年度実施例)



新潟県立近代美術館
「ジブリの大博覧会」展示作業
第一線で活躍する舞台美術関係者からの指導を受け、ジブリアニメの舞台を再現する展示作業や展示物の制作などを行いました。



株式会社あとらす二十一
Webトップページのデザイン
大手企業のWebサイトを多く手掛ける同社のノウハウを教えていただきながら、旅行特設ページのデザインを行いました。



エコー金属株式会社
生活雑貨のパッケージ・商品デザイン
デザイナーとして活躍する卒業生のもと、キッチンツールや日用品など実際に販売された商品のリデザインを体験しました。

4年間の就職活動の流れ

就職活動	大学での授業・講座・サポート
卒業後の進路について考える・情報収集 授業で制作した作品の保管・ポートフォリオの作成 インターンシップ	学内でセミナーや企業説明会などを随時開催 進路相談 基礎ゼミ（必修科目）
	地域協創演習・インターンシップ・ボランティア実習（選択必修科目） キャリア計画実習（必修科目）
	進路登録カードの提出・個別面談 就職対策講座
	個別の面接指導・履歴書添削・求人情報の提供 内定者向け講座
	就職サイトへの登録 履歴書準備・面接練習 企業説明会への参加・エントリー 面接・選考試験 内定
企業実習	

N I Dでのデザインの学びを通して、幅広い可能性の中から自らの進路を見つけ、希望の就職を叶えているN I D生。進路を決めたきっかけ、N I Dで身につけた力、社会へと向かう志など、2016年3月卒業生5名の就職について紹介します。

人の気持ちに寄り添い
世界一の製品づくりを

N I Dでは地域と連携したアートイベントをはじめ、多くの人と関わりながらデザインを学んできました。その経験をを通して、一つの物事と真摯に向き合い、そこに関わる人の「気持ち」や「こだわり」を汲み取ることで本当の魅力や価値を引き出す、それが私のデザインの強みであることに気づくことができました。キャノンではロゴなどのC Iやパッケージといった製品のビジュアルデザイン面における重要な役割を担います。常に使う人の気持ちに寄り添いながら「世界一の製品づくり」を目指すキャノンの魅力を、多くの人に伝えていきたいと思っています。



右/長岡市で開催した地域連携イベント「ヤングアートディスプレイ in 大手通 2015」におけるポスターデザインのプレゼンテーション。



左/新潟県の特産品「車麩」のパッケージデザイン。

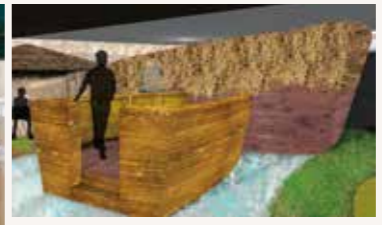


松田 明莉 Akari Matsuda

職 種：ビジュアルデザイナー
勤務先：キャノン 株式会社
卒業学科：視覚デザイン学科

目標だった店舗設計
心地良い空間を目指して

ウィンドウディスプレイを企画する演習で、私のデザインが採用され、実際に施設に展示された経験から、店舗設計に携わりたいという想いを強く持つようになりました。N I Dでは、専門分野にとらわれず他学科の授業や海外研修などにも参加し、そこで学んだ全てが私のデザインの糧になっています。三越伊勢丹プロパティ・デザインは内装デザインに留まらずテナント誘致や施設管理など総合的な店舗マネジメントを行っています。様々な事業に関わる中で、目標である「感動」を呼ぶ、居心地の良い空間づくり」を実現したいです。



右/卒業研究「三国志をテーマにした喫茶店の設計」。



左/演習で「挨拶」をコンセプトに設計したディスプレイ。長岡市の国際交流センター「地球広場」に展示された。



佐藤 愉己 Yoshiki Sato

職 種：総合職
勤務先：株式会社 三越伊勢丹プロパティ・デザイン
卒業学科：建築・環境デザイン学科

「人との繋がりを軸に
彫刻から自動車業界へ

工業用粘土で自動車などの模型を製作する「クレイモデラー」という職種を、インターシップで知ったことが進路を決める大きなきっかけとなりました。彫刻は芸術の分野でもありますが、粘土を用いた模型製作の経験や、自らの手で作り上げることで培われる、ものづくりの思考や構造への理解は、自動車というプロダクト製品づくりの分野でも大きな強みになると感じました。私が大学生活や作品制作で大切にしていた「人との繋がりがり」や「コミュニケーション」を、フィアロコーポレーションのデザイン開発の現場で活かしていきたいです。



齋藤 絵莉 Eri Saito

職 種：モデラー
勤務先：株式会社 フィアロコーポレーション
卒業学科：美術・工芸学科



「伝統産業×アイデア」で
地元新潟を盛り立てる

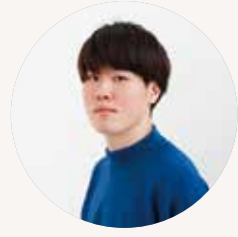
新潟県が誇る五泉市のニット産業をけん引するウメダニットで、自社の特色を活かしたオリジナルブランドの企画・営業を担当します。

卒業研究発表の場としてN I Dにて開催したファッションショー。作品名は「insight -アイデンティティを纏う-」。「さらす」と「覆う」ことの関係について光を通して表現した作品。

上/卒業研究「未来へ」。「人との繋がりを」をキーワードに、立体造形を繊維素材によって表現した作品。
下/演習で制作した、「人体」をテーマにした木彫作品。



「伝統産業×アイデア」で地元新潟を盛り立てる。卒業研究発表の場としてN I Dにて開催したファッションショー。作品名は「insight -アイデンティティを纏う-」。「さらす」と「覆う」ことの関係について光を通して表現した作品。



横山 拓哉 Takuya Yokoyama

職 種：企画・営業職
勤務先：株式会社 ウメダニット
卒業学科：プロダクトデザイン学科

デザインの志を持ち
農業の発展に貢献したい

私は「長岡造形大学へ行ったのになぜJAを目指したのか」と聞かれることがあります。それは、デザインは「問題を解決するための手段である」ということをN I Dで学ぶことができたからです。私の実家は新潟県の上越市内で専業農家を営んでいます。第一産業は様々な問題を抱え、存続が危ぶまれる時代です。だからこそ私は、えちご上越農業協同組合に入組し、地元の農家が安心して農業を営める環境づくりを担う一人として、デザインの志を持ち、挑んでいきたいと考えています。



久保田 由貴 Yuki Kubota

職 種：一般職
勤務先：えちご上越農業協同組合
卒業学科：視覚デザイン学科



上/新潟市で開催された「にいがた花絵プロジェクト in 万代」で携わった花絵デザイン。
下/地域協創演習で制作した村上市の観光ガイドブック『むむm』の取材風景。

就職実績

主な

家電・自動車・精密機器など

浅野金属工業
アルモ
遠藤精工所
大原鉄工所
倉敷機械
コスモ・パワー
コロナ
システムスクエア
ダイニチ工業
テクノリンク
日本精機
フジイコーポレーション
マコー

新潟県内

新潟県外

アイアールディー
アイ・オー・データ機器
アベックス
いすゞ自動車
泉精製製作所
ウイン・ディー
URO電子工業
エンケイ
オリンパス
オリンピア照明
カシオ計算機
技術製作所
キヤノン
コイズミ照明
酒井医療
サンアロー
JVCケンウッド
シバックス
シャープ
JXI
湘南デザイン
スズキ
Curovo
ソニーモバイルコミュニケーションズ
ダイハツ工業
寺岡精工

電研精機研究所

デンソー
東海理化
東京ロストワックス工業
東芝
東芝テック
東芝パソコンシステム
東洋ゴム工業
トヨタ自動車
トヨタ自動車東日本
トヨタ車体
トヨタ紡織
日南
日本無線
パナソニック
林デレンプ
日立工機
フィアローポレーション
富士重工
富士通ゼネラル
本田技術研究所
マリン・コンピュータ・マーケティング
森博
ヨドバシカメラ
レッドバロン
ワイケーデザインリンク

家具・日用品・玩具など

アーネスト
アクアデザインアマン
安達紙器工業
安中製作所
イトウ
イトーキマレイ工業
エイ・アンド・アイ
エコー金属
エフディー
オイクス
兼古製作所
川口工器
川崎合成樹脂
玉川堂

サンカ

ジェイ・イー・ジェイ
新光金属
シンワ測定
スリービックス技研
セブン・セブン
高桑金属
ティックス
藤次郎
外山産業グループ
マルト長谷川工作所
森井
吉田金属工業
和平方レイズ

アイリスオーヤマ

青山眼鏡
アツリカ・ナルドレンズプロダクツ
アミンク
イトーキ
エース事務機
岡村製作所
梶原製作所
河津
キッチンハウス
輝陽工業
クリエイトブヨロコ
香彩堂
コトブキ
こども館
コンビ
タカラトミー
多田木工製作所
タミヤ
翼工業
天童木工
児童館
トーン
トクラス

ナリス化粧品

日本ポタン
日本メナード化粧品
能作
馬場家具
ビギ
飛騨産業
HickoryStrawlers
フクイ
ブラス
古川紙工
北川産業
増永眼鏡
マップワールド
友和
レイアップ
レック

スポーツ用品・ジュエリーなど

アウトスポット
オンヨネ
アミミック
アイ・ジュエル・プランニング
アシックス
アトリエ春
アルペン
石友
エンタージウム
エムハート
大坪
金美堂
倉又製作所
泰山
ケイ・ウノ
工房クリーム
ネオス
サンリブ
Joue
島田貴金属店
SORA

繊維・アパレルなど

青柳
ウメダニット
きものブレイン
鈴倉インダストリー
関芳
第一合織
タシケント
桐屋
新潟染工
フクエー
マックスニット
丸久ユニフォーム
マルキン
丸正ニットファクトリー
見附染工
吉澤織物

あぶち

あぶち
大塚製靴
キャン
京都きもの友禅
キヨシ・フアブリックス
クロスカンパニー
サンカーベット
Jong
住江織物

公務員・特殊法人・教育機関など

越後さんとう農業協同組合
えちご上越農業協同組合
越後なごか農業協同組合
小千谷市
柏崎農業協同組合
かみえちご山梨ファン倶楽部
駒形十吉記念美術館
佐渡市
市民協働ネットワーク
上越市
食の工房ネットワーク
中越防災安全推進機構
燕三条地場産業振興センター
長岡市
長岡商工会議所
新潟県
新潟県警察
新潟県高等学校教員
新潟県中越地震復興基金
新潟県中学校教員
にいがた産業創造機構
新潟市
新潟市子ども創造センター
新潟市マンガ・アニメ情報館
新潟日建工科専門学校
新潟みらい農業協同組合

大成建設ハウジング

大成建設ハウジング
大和ハウス工業
タカノホーム
日本ハウスホールディングス
ハウステック
ポラス
山商リフォームサービス
LIXIL

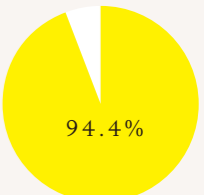
警視庁

警視庁
山東工芸美術学院(中国)
J A 高崎ハム
自衛隊
特許庁
日本郵便
羽黒高等学校
ヒコ・みづのジュエリーカレッジ
文化財建造物保存技術協会
宮崎県工業技術センター
山形県高等学校教員
ゆう工房
和歌山県文化財センター

その他

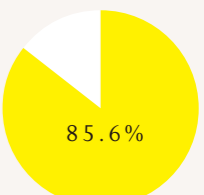
アーケベル
アークランドサカモト
ヴィームスタジオ
コモリ
シリウス
長岡信用金庫
新潟交通
本今井舗(香林堂)
ワタナベグループ
カインズ
木下サーカス
ソニー生命保険
日本の宿古窯
東日本旅客鉄道
日比谷花壇
フォーシーズ
PLANT
ワタナベエンターテインメント

2015年度実績
(2016年5月1日現在)



就職率
(就職者 / 就職希望者)

学生が社会の求める人材へと成長を遂げたことを表す指標。



就職希望率
(就職希望者 / 卒業生)

大学の学生に対する就職指導の積極性を表す指標。

比留川勇広告写真事務所
富士印刷
フジ・クリエイティブセンター
フレーム
プレスメディア
北越印刷
ほしゅう
明昌堂
アーツ
アイデアビューロー
赤丸広告事務所
朝日印刷
アデイスミューズ
アド芸
アドブレン
ヴォイス
エイエイビー
エイブルデザイン
エスイープランニング
ZG
EBC教育図書センター
EBC教育図書センター
カメレオン
カメレオン
カラフル・カンパニー
共同通信社
共立印刷
good design company
グッドモーニング
クリエイティブオリコム
クリエイティブ・マインド
グレイブストーン
グロリア・アーツ
ザ・マン
産業編集センター
CDG
ジェイスリー
スペーススタジオ
スタジオ55
スタジオオ・ユニ
スタッフコミュニケーション
ステアインク
セルロイド
セルロイド
第一紙行
大成社
高桑美術印刷
高津装飾美術
タフゴング
丹靑社
ツープラトン
ティーツー
ティ・エム・シー
ティ・デイ・エス
デザインフェスタオフィス
電通

電通サドラー・アンド・ヘネシー
電通東日本
東京舞台照明
東タイ
ナンパースリー
日本ステージ
ネコ・パブリッシング
ハートウッドカンパニー
博報堂プロダクツ
パワハウス
バンクエット・プランニング
ビーコンコミュニケーションズ
ビジネスアート
平林デザインスタジオ
BRST
フレックス・デザインパワーズ
ヘルメス
ポップコーン
ポバル
毎日新聞社
前田環境美術
マトリクス
ミュージック・コーポレーション
ミラヤマ
山口至剛デザイン室
山口デザイン事務所
ユアール代官山スタジオ
ヨシダ感光機材
ライトデザイン
リンクス
ル・プロジェクト
若草印刷

サイバーエージェント
スカベスタジオ
スタジオエビス
ストラテジックパートナーズ
セラク
チームラボ
千代田ビデオ
DDMM.comラボ
テクノネット
テレビ朝日クリエイティブ
東京サウンドプロダクション
東芝パソコンシステム
ナムコ
日本一ソフトウェア
ビクス
富士オフィス&ライフサービス
プロダクション・アイジー
ヤフー

ビーディーシステム
日比谷アメニス
Fundation, Inc. (バラグアイ)
丸善
光井純&アソシエーツ建築設計事務所
三越伊勢丹プロパティ・デザイン
U A A 東京
建設など
阿部建設
大石組
小柳建設
加賀田組
頸城建工
恒樹園新潟
新発田建設
ダイア建設新潟
ダイエープロビス
永井工業
ナガオカサッシ工業
福田組
本間組
丸山工務所
三牧建設工業
三泰建設
AP Aグループ
奥村組
鹿島建設
ニホンターフメンテナンス
平山建設
ヤマト

大成建設ハウジング
大和ハウス工業
タカノホーム
日本ハウスホールディングス
ハウステック
ポラス
山商リフォームサービス
LIXIL
大熊工業
トリア
吉運堂
きたむら茅葺屋根工事
熊谷産業
グラス・アート瑠璃工房
Class Studio 尋
澤彫刻店
鈴木鋳金具工芸社
factory zoomer

越後さんとう農業協同組合
えちご上越農業協同組合
越後なごか農業協同組合
小千谷市
柏崎農業協同組合
かみえちご山梨ファン倶楽部
駒形十吉記念美術館
佐渡市
市民協働ネットワーク
上越市
食の工房ネットワーク
中越防災安全推進機構
燕三条地場産業振興センター
長岡市
長岡商工会議所
新潟県
新潟県警察
新潟県高等学校教員
新潟県中越地震復興基金
新潟県中学校教員
にいがた産業創造機構
新潟市
新潟市子ども創造センター
新潟市マンガ・アニメ情報館
新潟日建工科専門学校
新潟みらい農業協同組合

卒業生の就職実績や活躍は
大学ホームページ特設サイト
「DEDAI JOB MAP」
で紹介しています。
<http://www.nagaoka-id.ac.jp/jobs/>



No Wall Digger [ダンス]

DJ、ダンサー、シンガー、ラッパー、トラックメイカー、あらゆるジャンルのエンターテイナー集団です。学内のイベントはもちろん、学外でも幅広く活動をしています。あなたの個性を私たちにください。新しいエンターテインメントを募集しています。



平成ぼこ [演劇]

演劇部には、役者以外にも演出・脚本・音響・照明・広報など様々な役割があります！また最近ではプロジェクターを使った演出も行っています。詳しい活動についてはTwitter (@poko_taki)、ブログ(ぼこプロ)にて！活動は週2回。未経験者も大歓迎です！少しでも興味のある方お待ちしております！



バレーボールサークル

毎週金曜日に日頃の疲れ、ストレスを発散しませんか。楽しむことを目的に、未経験者中心にワイワイ活動しています。のほほんとしたバレーがしたい人大歓迎です。



STRAY CHILDREN [映像]

大学の機材を利用してPVやショートムービーなどの映像作品を制作しています。撮影から編集まで、全て自分たちの手で行っています。映像が好きで、自分で映像を撮りたい人など大歓迎です。みんなで楽しくカッコイイ映像をつくりませんか？



バスケットボールサークル

「楽しむ」をモットーに、週2回NIDホールで活動しています。部といっても経験者だけを求めているわけではなく、初心者も大歓迎です！優しく個性的な先輩が皆さんを待っていますよ。バスケサークルで充実した大学生活を送りましょう！



少林寺拳法部

週2回、大学内や他大学などで練習しています。武道未経験者も大歓迎！興味がある方はぜひ練習を見学しに来てください。個性的な先輩たちがお待ちしております！



紙漉きサークル

小国和紙生産組合さんのご協力のもと、本格的な和紙を制作することができます。大学祭での展示および小物販売や、新入生歓迎会、小国での合宿など、イベントも盛りだくさんです。男女問わず、和紙に興味のある方は誰でも大歓迎です！



輪太鼓衆転太鼓舞 [和太鼓]

私たちは「輪になって楽しく太鼓を叩こう！」をコンセプトに、日々太鼓練習に打ち込んでいます。長岡市を中心として、県内各地のイベントやお祭りに参加し、元気よく活動中です。かけ声はいつも「ちょいさー！」



クリエイティブクラブ [マンガ]

週1回、アナログ・デジタルでイラストやマンガを描いています。年2回、部誌を発行して県内のイベントで配布しています。アットホームな部活です。



NID総合音楽会 [軽音楽]

バンド活動を中心に、大学祭やイベントなどに参加しています。初心者から経験者まで音楽が好きなら大歓迎！愉快な先輩たちが君たちを待っています。大学生活を充実させたいと思うなら迷わず「総音」へ！



学生会

学生会は、学生が自主的な活動を通して学生間や地域の方々や親睦を図り、大学生活を向上・発展するための活動を行う組織です。学生会の下には、大学祭実行委員会、卒業アルバム編集委員会、そして部・サークルなどのクラブ連合委員会が組織されています。



バドミントン

2015年に新しくできたサークルです。週1回、初心者から経験者まで、性別や先輩・後輩関係なく楽しく活動しています。メンバーは学年問わずまだまだ大募集中です！スポーツが好きな人、運動したい人、一緒に楽しく活動しましょう！



NIDサイクリングサークル

2015年新たに誕生したNIDサイクリングサークル。自転車の種類を問わず(ママチャリ、折りたたみ大歓迎！)みんなで楽しくサイクリングしよう！というゆる〜いサークルです。自転車に興味している人、自転車が好きなら入るしかない！自転車に乗って風を感じよう！



N.T.C (長岡トランスポーテーションクラブ)

私たちの主な活動は、モビリティの制作、プロダクトスケッチ練習です。モビリティ制作では、夏休みなどの長期休暇を利用して作業し、大学祭等のイベントに出展します。普段行なうスケッチ練習では、デザインするために必要なスキルを身につけることができます。



merceria [手芸]

週1回活動しています。制作した作品の学内展示、フリーマーケットへの参加、大学祭での雑貨販売などを行っています。手芸が好き、ものづくりが好きという方であれば、技量は問いません。まったりとした雰囲気の中で楽しく制作活動してみませんか？



吹奏楽部 甘楽 [吹奏楽]

吹奏楽好きの学生が集まっています。全員での演奏の他にアンサンブル(少人数)での演奏も行っています。大学祭や新入生歓迎会での演奏や、他大学の学生との合同演奏も楽しむことができます。甘楽はゆる〜い雰囲気なので、初心者の方も歓迎です。



大学祭実行委員会

大学祭の企画運営をする委員会です。学生はもちろん、ご来場の方々や地域の皆さんにも楽しんでいただけるような大学祭をつくるのが目標です。先輩からいろいろな技術が学べます。一緒に大学祭をデザインしましょう！



田中 和 Nodoka Tanaka

視覚デザイン学科4年
出身学校：伊勢崎清明高等学校(群馬県)

私が所属している輪太鼓衆転太鼓舞は「輪になって楽しく太鼓をたたこう！」をコンセプトに日々活動に取り組んでいます。長岡市を中心とし、新潟県内各地のお祭りや介護施設、幼稚園、小学校などで演奏していて、年々活動の幅は広がってきています。何よりも太鼓を叩くことが楽しいです。一週間太鼓から離れると体調が悪くなることもあります(笑)。また、出演先のお客様に拍手してもらったり、泣きながら握手してもらったことは嬉しくて忘れられません。

活動について



天文サークル

週1回活動しています。天気の良い日に仲間とぼんやり星を眺めませんか？海や山に星を見に行く学外活動もあります。星に詳しくなくても、星を眺めることが好きな人、星の写真を撮ってみたい人など、星に興味がある人大歓迎です。



DREAM SCREEN [デジタル作品]

週1回、デジタル作品の制作・講評をしています。制作した作品はホームページで公開し、皆さんに見ていただいています。ぜひご覧ください。<http://dreamscreen2011.web.fc2.com/>



器皿工房 [陶芸]

週2回活動。粘土から皿や小物、アクセサリなどを作り、大学祭などで展示販売をしています。自由でアットホームな部活で、「陶芸をやってみよう」「とにかく何かを作りたい」と思っている人にオススメです。一緒に陶芸しませんか？



卒業アルバム編集委員会

名前の通り、自分たちで卒業アルバムを制作しています。デザイン、撮影を一から行い、アルバムとして形に残すのは、とてもうれしい思い出になります。また、みんなでカメラの技術を勉強したり撮影に出かけたり、キャンプやBBQなども行います。

学生団体 (部・サークルなど)

学生生活は作品制作や勉強だけではありません。

施設・設備 その他サポート

e-campus

e-campusは、学内から無線LANであらゆる情報へアクセスでき、学生同士はもちろん、先生とも積極的なコミュニケーションが生まれています。

- 学内のほぼ全域から無線LANでインターネットに接続可能
 - ノートパソコンやスマートフォン等の携帯端末から、学内のどこにいてもインターネットで情報を得ることができます。

- 学生全員にEメールアドレス

Google社のGmailを用いて、大学ドメインの自分専用のメールアドレスを持つことができます。学生生活に就職活動にと、様々な場面で役立ちます。

- キャンパスライフに必要な情報源は学生用ポータルサイト「パレット」
 - 大学からの連絡事項や講義内容、授業変更など、キャンパスライフに必要な情報を集約したポータルサイトが「パレット」。課題の提出や資料のダウンロード、個人スケジュールの管理など、あなたの使い方次第で、学生生活をより充実したものにするウェブコンテンツです。

「パレット」のコンテンツ

- お知らせ：大学からの連絡・呼び出しなどの情報を携帯端末にも配信できます。
- 授業情報：講義概要等の情報がチェックできます。
- 授業変更情報：休講や補講等の情報を、自宅や外出先からでも確認できます。
- スケジュール：時間割、自分で登録したスケジュールなどを管理できます。
- 授業支援機能：課題の提出や資料のダウンロードが、学外からでもできます。
- E-mailの送受信：自分専用のメールアドレスで学内外から送受信できます。

スポーツ施設
NIDホール(体育館)、グラウンド、テニスコートをはじめ、シャワー付きの更衣室も完備しています。使用予定の入っていない時間には自由に使うことができます。

オフィスアワー・学生相談
専任教員は、週1回オフィスアワーを設定し、学生の質問や相談に対応しています。また、学生相談室では臨床心理士が週3回程度相談を受け付けています。

経済的サポート

授業料等免除
経済的理由により修学が困難で、人物および学業成績がともに優秀である学生に対し、本人の申請に基づき、予算の範囲内で授業料等の年額の半額を免除します。
※8月に募集を開始します。

日本学生支援機構奨学金
(日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp/>)
日本学生支援機構が実施する奨学金を紹介しています。奨学金には、NID入学後に申し込む在学採用と、入学前に申し込む予約採用があります。予約採用については在籍する高校の先生に問い合わせてください。
〔公立大学〕
(1) 第一種(無利子)奨学金
自宅通学者
月額三万円または四万五千円から選択
自宅外通学者
月額三万円、四万五千円、五万円のいずれかから選択
(2) 第二種(有利子)奨学金
月額三万円、五万円、八万円、十万円、十二万円のいずれかから選択
※入学後に説明会を開催します。

学業・学生生活サポート

単位互換制度
NIDに在籍しながら他大学の授業を履修できる制度です。取得単位は規定範囲内でのNIDの履修単位として認められます。
長岡技術科学大学 長岡大学
新潟工科大学 放送大学

留学制度
学生が海外の大学・短期大学に留学をした場合、そこで取得した単位を認定し、また留学期間をNIDの在学期間として算入する制度を整えています。NIDでは海外の大学と提携を結び、交換留学や相互研究活動を推進しています。
〔提携大学〕
・東西大学(韓国)／交流協定・複学位協定(大学院短期留学プログラムあり)
・漢陽大学(韓国)／交流協定(大学院短期留学プログラムあり)
・ハワイ大学(建築学部)／交流協定

学生教育研究災害傷害保険
(略称:学研災)(公益財団法人日本国際教育支援協会)
NIDでは、授業やサークル活動、学校行事・通学中の事故等でのケガに対応する保険に全学生が加入します。

学研災付帯賠償責任保険
(略称:付帯賠償)
正課中、学校行事中、課外活動、教育実習やインターンシップ、ボランティア活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことに対する保険にも全学生が加入します。

資格取得サポート ※資格取得には所定の科目を履修する必要があります。

<p>全学科</p> <p>学芸員(定員35名)</p> <p>商業施設士受験資格</p>	<p>美術・工芸学科</p> <p>中学校教諭一種免許状(美術)</p> <p>高等学校教諭一種免許状(美術)(工芸)</p>
--	--

建築・環境デザイン学科

<p>一級建築士受験資格</p> <p>※受験に必要な実務経験年数は指定科目の取得単位数により異なり、最高で2年まで短縮できます。 ※NIDでは、指定科目の単位取得により大学院修士課程の2年間が実務経験として算入されます。</p>	<p>インテリアプランナー登録資格</p> <p>※NIDでは、登録に必要な実務経験年数が2年に短縮されます。</p>
--	--

<p>二級建築士受験資格</p> <p>一・二級建築士資格取得支援 日建学院と提携した資格取得支援講座を学内で開講しています。また、日建学院、総合資格学院と提携し、卒業後も建築士試験受験講座を優待価格で受講できます。</p>	<p>二級建築施工管理技術士資格取得支援 総合資格学院との提携で受験講座を優待価格で受講できます。</p>
---	--

<p>木造建築士受験資格</p> <p>※受験に必要な実務経験年数は指定科目の取得単位数により異なります。</p>	<p>RLA：登録ランドスケープアーキテクト受験資格</p> <p>※ランドスケープ系研究室に所属し卒業した場合に、受験に必要な実務経験年数が3年に短縮されます。</p>
--	--

学生駐車場・駐輪場
学生駐車場を完備し、自動車268台分の駐車スペースを用意しています。また、バイクや自転車の駐輪場も完備しています。

売店
画材を中心に、制作活動に必要な道具類は学内で買い揃えることができます。

作品展示スペース
学内には作品展示ができるスペースが多数あります。サークル活動や個人・グループで制作した作品を展示することができます。またフックやワイヤーなど展示用備品の貸し出しも行います。

東京シャトルバス
往復三千円の料金でNIDと東京を往復する、NID学生専用の貸切バスです。運行は毎月1回程度。NIDを金曜の夜に出発し、翌日の夜にNIDに戻ってきます。

各種ソフトウェアの提供
マイクrosoftオフィスやアドビクリエティブクラウド等のソフトウェアを無料で提供します。これらを皆さんのノートパソコンにインストールできます。

キャンパスライフ



NIDについて
 教員との距離が近いです。演習では、毎回個別にエスキースをチエックしてくれるので、厳しい意見もありますが、スキルアップにつながっています。

夢中になっていること

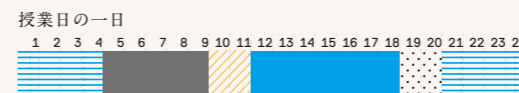
アルバイトを頑張っています。学業との両立が大変だったので一度辞めてしまいましたが、時間を上手に使えるようになってからは、アルバイトを再開することができました。

NIDを目指す人へ

講義や演習を通して、建築設計やランドスケープなど、様々な分野の中から自分が本当にやりたいことを見つけ、学べます。また、自分の作品をプレゼンテーションする機会が多いので、自分の意思を伝える力を養うことができます。



山口 志瑞哉 Shizuya Yamaguchi
 建築・環境デザイン学科 3年
 出身学校：上越総合技術高等学校（新潟県）



NIDについて
 地域との繋がりが強いところが魅力だと思っています。こどもものづくり大学校やヤングアート長岡、地域協創演習、さらには企業との協同プロジェクトなど様々なところで地域社会に参加することができ、人との関わりから学べるのがたくさんあります。

夢中になっていること

ボランティアや新潟県立近代美術館で行われる展示会の設営インターンシップに参加しています。プロの仕事を間近で見られることや、自分とは異なる価値観を持つ同世代や歳の離れた方と話をすることが楽しく、制作や就職活動の原動力にもなっています。

NIDを目指す人へ

モノを作る時、身に染みていることは知識や情報量の多さが重要だということです。モノを知らずして魅力的な作品は作れません。そのため、日頃から美術館に足を運んだり、分野に捉われずに色々な本や映画を観たりと、意識して良いものに触れることが大切だと感じています。



朝倉 香 Kaori Asakura
 美術・工芸学科 4年
 出身学校：高崎北高等学校（群馬県）



左：3年次前期課題。ミルフィオリ技法を用いた器の制作にて、アネモネをモチーフとしたお皿を作りました。右：3年の夏休みに釜石復興ボランティアに参加。写真は各班ごとに活動を振り返り、結果を横造紙にまとめて発表しているところです。



NIDについて
 自分からやりたいことを見つけてガンガン攻めていくことが大切！
 「ふわっと」毎日を通すのではなく、常に何かおもしろいことを考えて、それを実行していくことがNIDで楽しく過ごすために必要なことだと思います。絵を描いたり本を読むことも大切ですが多くの場所へ行き、変な人と出会うことも刺激になります（笑）

夢中になっていること
 いま夢中になっていることは女子学生の写真を撮って本にまとめることです。去年の大学祭では200部無料配布しました。今後も新しいものを作っていく予定です。

NIDについて
 学生に対して教員が本気でぶつかってきてくれるところが魅力です。私たちにたくさんのヒントを与えてくれます。また、設備も充実しています。私の一押しは写真のスタジオ！使える機材がたくさんあります。ストロボ撮影だつてでかっちゃいますよ！使わなきゃ損ですね…。



高野 桃子 Momoko Takano
 視覚デザイン学科 3年
 出身学校：長野東高等学校（長野県）

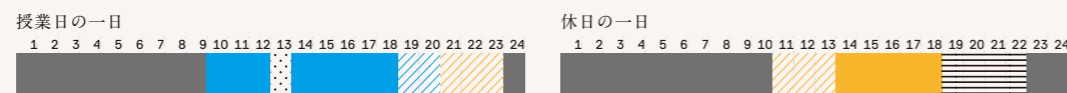


演習で制作したネクタイのモデリング画像
佐藤 丈夫 Takeo Sato
 プロダクトデザイン学科 3年
 出身学校：茨城工業高等専門学校（茨城県）

NIDを目指す人へ
 私は高専からの編入という極めて稀なケースでNIDへ入学しました。デザインの大学だからといって必ずしも美術の知識や能力が必要であるわけではありません。プロダクトデザインにおいては見た目や形のデザインだけでなく中身の仕組みを把握した上でのデザインが求められるため工業的なセンスが重要です。

夢中になっていること
 一人暮らしを始めたとき家具を買うお金が無かったので椅子や机をホームセンターの木材で作りました。自分の部屋を快適にするのに夢中です。また、NTCという乗り物関係のデザインをするサークルで小型モビリティを作っています。授業ではスケッチやデザインで終わることが多いですが、実際に動く乗り物を作ることができるのは魅力的だと思います。

NIDについて
 学生が自由に創作活動に取り組める環境が整っています。環境や設備だけでなく、専属のスタッフやサポートしてくれる職員がいるのも頼もしいです。デザイナーとしての実績がある教員が多いところや、現役のデザイナーとして活躍する教員もおり、その仕事ぶりやセンスを身近で感じ、話を聞いたりできるのはNIDならではの魅力だと思います。



授業料等

(※平成 28 年度実績)

造形学部

入学料 (入学時のみ)	282,000 円	※長岡市内在住者は 141,000 円		
	前期分 (4 月納付)		後期分 (10 月納付)	年額
授業料	267,900 円	+	267,900 円	= 535,800 円
実習料	25,000 円	+	25,000 円	= 50,000 円
合 計	585,800 円			

※上記の他、学生会費 (4,000 円)、保護者会費 (10,000 円)、校友会費 (10,000 円) を毎年代理で徴収させていただきます。
 ※視覚デザイン学科はノートパソコン (Mac) の所有が必須となります。推奨モデルおよび特別販売などの詳細は合格者全員にお知らせします。

大学院修士課程

入学料 (入学時のみ)	282,000 円	(長岡造形大学造形学部卒業者は免除) ※長岡市内在住者は 141,000 円		
	前期分 (4 月納付)		後期分 (10 月納付)	年額
授業料	267,900 円	+	267,900 円	= 535,800 円
合 計	535,800 円			

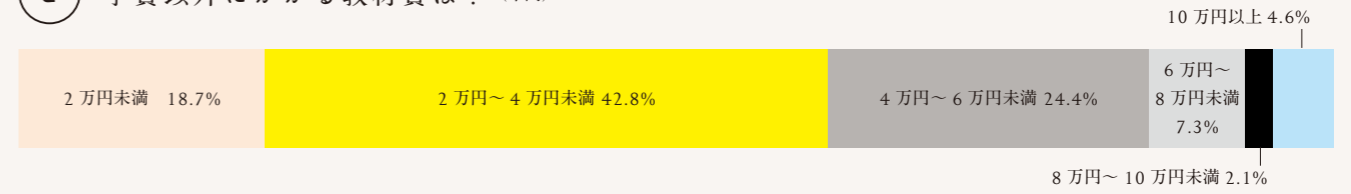
大学院博士 (後期) 課程

入学料 (入学時のみ)	282,000 円	(長岡造形大学大学院修士課程修了者は免除) ※長岡市内在住者は 141,000 円		
	前期分 (4 月納付)		後期分 (10 月納付)	年額
授業料	267,900 円	+	267,900 円	= 535,800 円
合 計	535,800 円			

学生データ

(※平成 26 年 11 月 学生生活実態調査より)

Q 学費以外にかかる教材費は？ (年間)



Q アルバイトをしていますか？



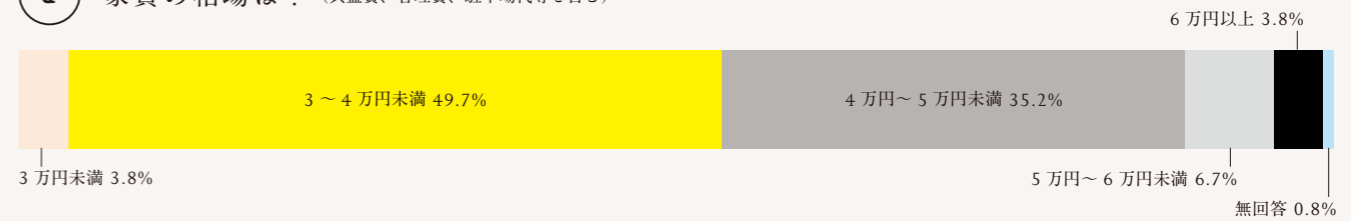
Q アルバイトは週平均何日していますか？



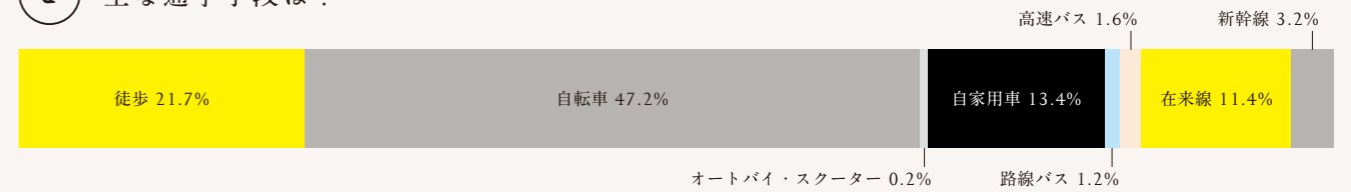
Q サークルに入っていますか？



Q 家賃の相場は？ (共益費、管理費、駐車場代等を含む)



Q 主な通学手段は？



Q 通学の所要時間は？



入学試験について

※詳細は学生募集要項をご確認ください。

アドミッションポリシー

社会において創造的役割を担いたいとの強い気持ちを抱き、基礎的な学力・表現力及び学ぶ意欲を持ち、長岡造形大学でのカリキュラムを通してその実現に向けた力を養いたいと思う者を広く受け入れる。

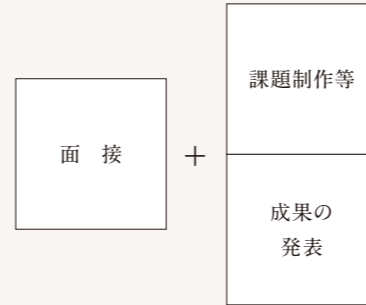
一般入学試験 科目選択・配点表

中期日程					前期日程					日程					
選択C					選択B					選択A		科目等	科目等		
理科※2※3	数学	公民※2	地理歴史※2	外国語	国語	理科※2※3	数学	公民※2	地理歴史※2	外国語	国語			外国語	国語
〔物理〕〔化学〕〔生物〕〔地学〕	〔数学Ⅰ〕〔数学Ⅱ〕 〔簿記・会計〕〔情報関係基礎〕	〔現代社会〕〔倫理〕〔政治・経済〕〔倫理、政治・経済〕	〔世界史A〕〔世界史B〕〔日本史A〕〔日本史B〕 〔地理A〕〔地理B〕	〔英語〕リスニングを含む	〔国語〕近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て	〔物理基礎〕〔化学基礎〕〔生物基礎〕〔地学基礎〕	〔数学Ⅰ〕〔数学Ⅱ〕 〔簿記・会計〕〔情報関係基礎〕	〔現代社会〕〔倫理〕〔政治・経済〕〔倫理、政治・経済〕	〔世界史A〕〔世界史B〕〔日本史A〕〔日本史B〕 〔地理A〕〔地理B〕	〔英語〕リスニングを含む	〔国語〕近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て	〔英語〕リスニングを含む	〔国語〕近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て		
得点上位の1科目 ※1					必須	必須	得点上位の2科目 ※1					必須	必須	必須	必須
100点					100点(250点満点を100点満点に換算する)	150点(200点満点を150点満点に換算する)	1科目100点 合計200点					100点(250点満点を100点満点に換算する)	100点(200点満点を100点満点に換算する)	100点(250点満点を100点満点に換算する)	100点(200点満点を100点満点に換算する)
面接					小論文					〔平面構成〕 〔鉛筆描写〕 から1科目選択		科目	個別学力検査等		
150点					100点					300点		配点			
500点					500点					500点		合計			

※1 大学入試センター試験の得点上位の科目は本学で自動的に選択し採用します。
 ※2 地理歴史、公民及び理科の基礎を付さない科目を採用する場合は第1解答科目に限ります。
 ※3 理科の基礎を付す科目は、2科目の合計点を1科目とします。

アドミッション オフィス入学試験

募集人員 造形学部 60名
 出願期間 平成28年8月29日(月)～9月5日(月)
 試験日 平成28年10月9日(日)(2次選考)
 選考方法
 1次選考 出願書類(志望理由書、自己アピール用紙、調査書)による選考
 2次選考 課題制作等と成果の発表、面接、出願書類による総合評価
 合格発表
 1次選考…平成28年9月16日(金)
 2次選考…平成28年10月21日(金)
 入学検定料 一七〇〇〇円
 会場 長岡



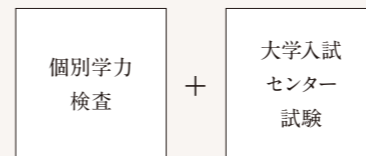
推薦入学試験

募集人員 造形学部 40名
 出願期間 平成28年11月1日(火)～7日(月)
 試験日 平成28年11月26日(土)または27日(日)
 ※試験日は大学が指定するどちらか1日
 出願資格
 次の条件をすべて満たす者
 ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込の者、または通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月修了見込の者
 ② 出身学校長の推薦を受けた者
 ③ 調査書における全体の評定平均値が3.5以上の者
 ④ 各校2名以内
 選考方法
 小論文、面接、出願書類による総合評価
 合格発表 平成28年12月9日(金)
 入学検定料 一七〇〇〇円
 会場 長岡



一般入学試験

募集人員 造形学部 前期日程 100名 中期日程 30名
 出願期間 平成29年1月23日(月)～2月1日(水)
 試験日 前期/平成29年2月25日(土) 中期/平成29年3月8日(水)
 合格発表 前期/平成29年3月3日(金) 中期/平成29年3月20日(月)
 入学検定料 一七〇〇〇円
 会場 長岡



試験科目はP85「一般入学試験 科目選択・配点表」参照

※社会人入学試験、外国人留学生入学試験、編入学試験、大学院入学試験についてはホームページ等でご確認ください。

around NID
周辺施設



新潟県立近代美術館
緑豊かな千秋が原ふるさとの森に位置する美術館。四季折々の自然の中でゆったりとアートにふれることができる美術館です。



長岡リックホール
コンサートホールとシアター、10室の練習スタジオを備えた長岡の創造的な芸術・文化の拠点。地域に根付いた文化活動の「創造の場」「発表の場」として、長岡の特性を生かしたさまざまなイベントが開催されています。



リバーサイド千秋
リバーサイド千秋・アピタ長岡店と120余りの専門店からなる大型ショッピングセンター。長岡市役所のサービスセンターや郵便局など、暮らしに役立つ施設も多数。

OPEN CAMPUS
オープンキャンパス

NIDのキャンパスをご覧になったことはありますか？

一歩足を踏み入れた瞬間から、キャンパス全体がデザインの教材であることを感じていただけるはずです。オープンキャンパスではNIDのことをみなさんに知っていただくために、様々なプログラムをご用意しています。教職員、学生スタッフがみなさんのご参加をお待ちしています。

平成28年 ①7/30(土) ②8/7(日)



昨年度の様子

- 01 個別相談会
- 02 スタジオ・ポートレート撮影(デモンストレーション)
- 03 視覚デザイン学科展示
- 04 美術・工芸学科作品展示
- 05 トートバッグにプリントしてみよう(プロダクトデザイン学科ワークショップ)
- 06 What a Wonderful NID Campus!(建築・環境デザイン学科レクチャー+キャンパスウォーク)

※日程・プログラムは変更する場合があります。詳しい内容はオープンキャンパスのご案内、ホームページ(6月下旬掲載予定)で確認していただくか、入試課までお問い合わせください。

デザインを学び、時代を担う人となる。

デザインを学ぶ大学、長岡造形大学（NID）は、開学から20年を経て、私立から公立へと新たな舵を取りました。それは、デザインと若者たち、そして地域と社会の未来を明るく照らす変革です。

私たちが取り組むデザインは、グラフィックやプロダクト、スペース、アーキテクト、そしてアートにいたるまで多岐にわたりますが、その本質的な価値は、表層だけでなく、デザインを生み出すプロセスや仕組みにも息づいています。それは、人間の暮らしや産業、そして社会づくりにいたるまで、幅広い分野で役立つものです。

また、デザインは、「アート」を母に、「テクノロジー」を父として両者の遺伝子を併せ持った存在とすることもできます。感性と理論の融合により、デザインには「問題解決」はもちろん、「問題発見」という可能性が生まれます。さらに、答えを

見つける力だけではなく、「自らが答えを創造する力」を養うこともできます。

デザインを専門とした唯一の公立大学として新たなスタートを切ったNIDでは、デザインの本質と進化をさらに追究し、地域社会や地元企業という連携先とともに新たな価値を追究してゆきます。机上だけではなく、地域社会をフィールドとしたデザイン研究は、未来につながる大きな財産となることでしょう。そして、より深く、そして広く、デザインの可能性を日々実感しながら学ぶことは新たなクリエイションの機会を見つけることになり、自身の可能性を広げることに通じます。きっとそこから、新しいデザインのあり方も見えてくるでしょう。

日々進化を続けるデザインを総合的に学び、モダンデザインという思想と行動力、そしてコミュニケーション能力を身につけることで、デザイナーという専

門領域だけではなく、多様な分野や職種において、夢を実現する力が身につくはずで。デザインは、人もモノもコトも、より良い方向へ導く大切な思考であり営みです。その力が、これからの時代には求められます。NIDで未来をつくるデザインに取り組んでください。

長岡造形大学 学長

和田 裕 Hiromu Wada

岐阜県下呂市生まれ。東海大学卒業後、いすゞ自動車株式会社で21年間デザイン業務に携わる。1994年、長岡造形大学開学とともに着任。専門分野はトランスポーターデザイン。主に関わった車両は、エルフ、ロデオ、ビッグホーン、ウィザード、ミュー、ディアフォルテ（ゲレンデ整備車）、10式雪上車。2012年4月より現職。趣味は合気道、プチ農業、バイクとのふれあい、そして愛犬（バグ）との戯れ。



建学の理念

造形を通して
真の人的豊かさを探求し、
これを社会に還元することのできる
創造力を備えた人材を養成する

沿革

1994年4月	長岡造形大学開学 (産業デザイン学科/環境デザイン学科)
1998年4月	長岡造形大学大学院修士課程開設
2001年4月	長岡造形大学大学院博士(後期)課程開設
2005年4月	産業デザイン学科を改組し、視覚デザイン学科を開設。 3学科体制に移行 (産業デザイン学科/視覚デザイン学科/環境デザイン学科)
2006年4月	産業デザイン学科を、ものデザイン学科に改称 (ものデザイン学科/視覚デザイン学科/環境デザイン学科)
2007年4月	環境デザイン学科を、建築・環境デザイン学科に改称 (ものデザイン学科/視覚デザイン学科/建築・環境デザイン学科)
2009年4月	ものデザイン学科を改組し、プロダクトデザイン学科、 美術・工芸学科を開設、4学科体制に移行 (プロダクトデザイン学科/視覚デザイン学科/美術・工芸学科/建築・環境デザイン学科)
2013年4月	新潟市にメディアアキャンパス開設
2014年4月	公立大学法人へ移行

NID へのアクセス



JR 長岡駅から NID へのアクセス

大手口 2 番バス乗り場から「江陽環状線」または「江陽団地行き」に乗車、約 15 分。「長岡造形大学前」下車、徒歩約 1 分。

長岡インターチェンジから NID へのアクセス

国道 8 号を長岡市内（北）へ向かい、車で約 5 分。蓮湯（はすがた）交差点を左折、次の信号を右折。

長岡駅へのアクセス

- 新潟駅から 上越新幹線で約 20 分
- 新潟空港から 路線バス 新潟駅経由 上越新幹線で約 60 分
(新潟空港から定期便運航都市 札幌、名古屋、大阪、福岡、那覇)
- 東京駅から 上越新幹線で約 90 分

各地からのアクセス方法

- 北海道方面から 空路 新潟空港経由 又は 羽田空港経由
- 東北方面から 東北新幹線 大宮駅経由
- 北陸方面から 北陸新幹線 上越妙高駅経由 (上越妙高駅から長岡駅まで在来線特急で約 60 分)
- 名古屋方面から 東海道新幹線 東京駅経由
- 大阪方面から 東海道新幹線 東京駅経由
- 福岡方面から 空路 新潟空港経由 又は 羽田空港経由

長岡造形大学 入試課 / 〒940-2088 新潟県長岡市千秋 4 丁目 197 番地
Tel. 0258-21-3331 Fax. 0258-21-3343
E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp

※ NID は Nagaoka Institute of Design の略称です。本書の図版及び文章の無断転載を禁じます。
© 2016 Nagaoka Institute of Design

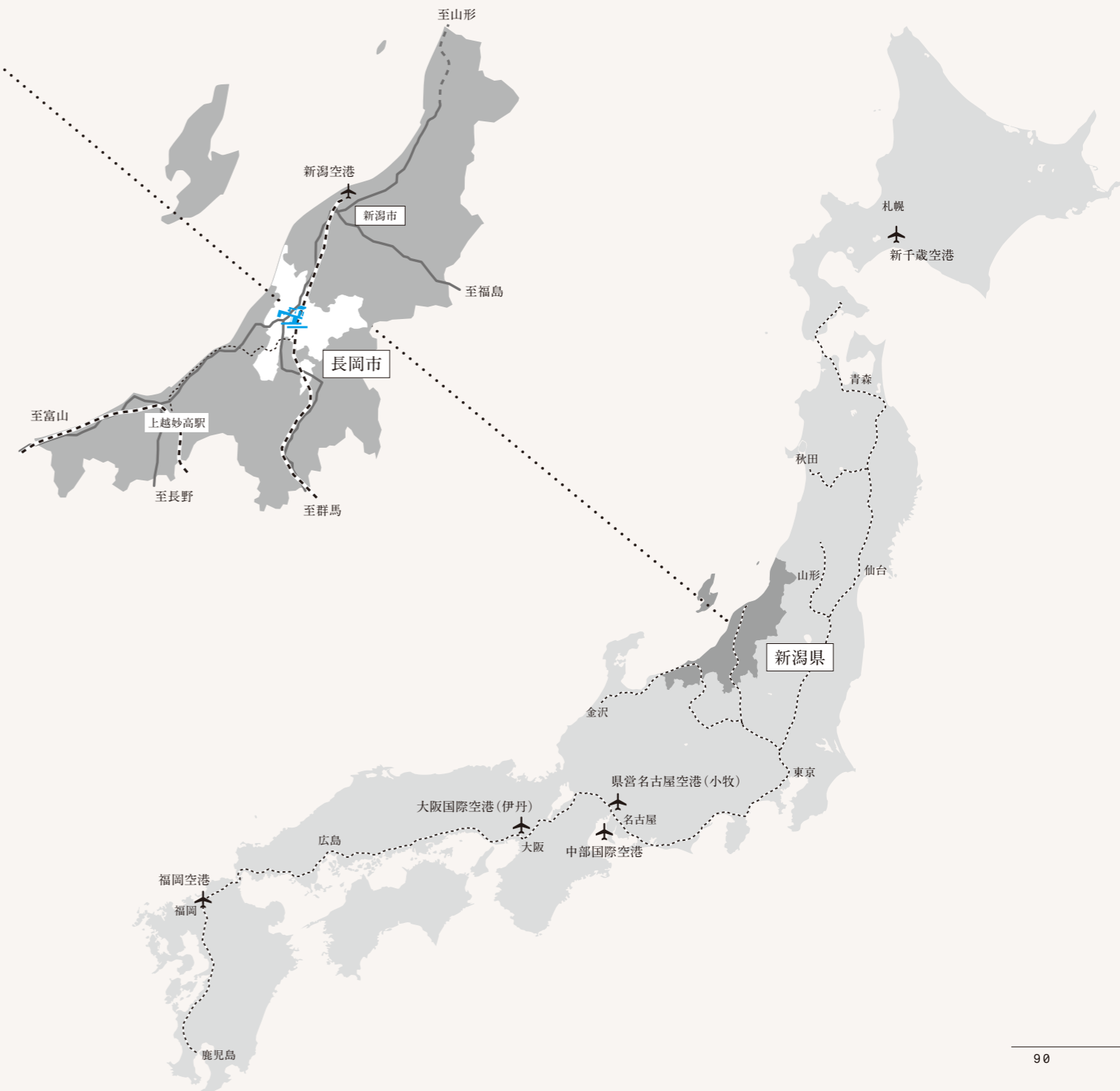
<http://www.nagaoka-id.ac.jp/> デ大 検索



都道府県別学生数

北海道	15	青森県	8	岩手県	7	宮城県	17	秋田県	19	山形県	36
福島県	48	茨城県	15	栃木県	16	群馬県	59	埼玉県	6	千葉県	7
東京都	10	神奈川県	8	新潟県	401	富山県	79	石川県	20	福井県	18
山梨県	6	長野県	75	岐阜県	11	静岡県	24	愛知県	10	三重県	4
滋賀県	1	京都府	3	大阪府	15	兵庫県	9	奈良県	2	和歌山県	3
鳥取県	3	島根県	2	岡山県	3	広島県	4	山口県	1	徳島県	2
香川県	5	愛媛県	6	高知県	0	福岡県	4	佐賀県	2	長崎県	0
熊本県	6	大分県	3	宮崎県	10	鹿児島県	14	沖縄県	2		

平成 28 年 4 月 1 日現在



プロダクトデザイン学科

視覚デザイン学科

美術・工芸学科

建築・環境デザイン学科

公立大学法人

長岡造形大学

Nagaoka Institute of Design

